

令和4年度

福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式

報告書

令和5年3月

公益財団法人テクノエイド協会



# 目次

<b>第1部 本編</b> .....	<b>1</b>
1. 介護ロボット地域フォーラムの開催 .....	1
2. 介護ロボット全国フォーラムの開催 .....	9
3. 介護ロボットメーカー連絡会議の実施 .....	12
4. 介護ロボット活用ミーティングの実施 .....	14
5. 介護現場のニーズをふまえた介護機器の開発支援に係る取組 .....	17
6. 介護ロボットのプラットフォーム事業における実証フィールドのリスト .....	32
7. 介護ロボットの試用貸出リストの作成 .....	37
8. 介護ロボットの開発・導入に係る助成制度の調査 .....	38
9. 介護ロボット導入支援事業・生産性向上の取組の実態調査 .....	42
10. 福祉用具等の安全利用に関する整理・報告・発信 .....	68
11. 介護現場・開発企業、行政、マスコミ、海外等からの照会受付・情報発信 .....	80
<b>第2部 資料編</b> .....	<b>85</b>
1. 介護ロボット地域フォーラム 募集要項 .....	85
2. 介護ロボット地域フォーラム アンケート結果 .....	99
3. 介護ロボット全国フォーラム パンフレット .....	143
4. 介護ロボット等モニター調査事業等 募集要項 .....	155
5. 介護ロボットの試用貸出リスト .....	191
6. 介護機器の開発・導入に係る助成制度 調査結果 .....	483
7. 介護ロボット導入支援事業等の実態調査 調査票 .....	595
8. 福祉用具等の安全利用に関する事例 新規加工事例の一覧(2月24日時点) .....	611



# 第1部 本編



# 1. 介護ロボット地域フォーラムの開催

## (1) 趣旨

日本の高齢化は世界に例を見ない速度で進行しており、生産年齢人口が減少し、介護ニーズが増大していく中、介護人材の確保は喫緊の課題であり、介護職員の負担軽減や介護現場の生産性向上を図り、さらには質の高いサービスを効率的に提供するため、介護現場へのテクノロジーの導入は不可欠となっている。

こうした中、厚生労働省では「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業を実施しているところであるが、本事業では、介護ロボットのプラットフォーム事業の相談窓口（地域拠点）が無い都府県において、介護ロボット地域フォーラムを開催し、介護ロボットの体験展示や試用貸出の受付等を行う機関（以下「協力機関」）を募集した。

地域において、介護ロボットの普及啓発を行い、もって介護ロボットの適切かつ効果的な導入・利活用に資することを目的とした。

### ○介護ロボットのプラットフォーム事業の相談窓口（地域拠点）が無い都府県

- ・宮城県    ・秋田県    ・山形県    ・福島県    ・茨城県    ・群馬県    ・千葉県
- ・東京都    ・石川県    ・福井県    ・山梨県    ・長野県    ・岐阜県    ・静岡県
- ・三重県    ・滋賀県    ・京都府    ・奈良県    ・和歌山県    ・鳥取県    ・島根県
- ・岡山県    ・山口県    ・香川県    ・高知県    ・佐賀県    ・長崎県    ・熊本県
- ・宮崎県    ・沖縄県

## (2) 対象とするロボットの範囲

### ○ロボット介護機器の開発重点分野（平成29年10月）

移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り・コミュニケーション	入浴支援
<p>○装着</p>  <p>・ロボット技術を用いて介助者のパワーアシストを行う装着型の機器</p>	<p>○屋外</p>  <p>・高齢者等の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できるロボット技術を用いた歩行支援機器</p>	<p>○排泄物処理</p>  <p>・排泄物の処理にロボット技術を用いた設置位置調節可能なトイレ</p>	<p>○施設</p>  <p>・介護施設において使用する、センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム</p>	<p>○施設</p>  <p>・ロボット技術を用いて浴槽に入浴する際の一連の動作を支援する機器</p>
<p>○非装着</p>  <p>・ロボット技術を用いて介助者による抱え上げ動作のパワーアシストを行う非装着型の機器</p>	<p>○屋内</p>  <p>・高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポートし、特にトイレへの往復やトイレ内での姿勢保持を支援するロボット技術を用いた歩行支援機器</p>	<p>○トイレ誘導</p>  <p>・ロボット技術を用いて排泄を予測し、的確なタイミングでトイレへ誘導する機器</p>	<p>○在宅</p>  <p>・在宅介護において使用する、転倒検知センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム</p>	<p>○在宅</p>  <p>・在宅介護において使用する、転倒検知センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム</p>
<p>厚労省・経産省によるロボット技術の介護利用開発重点分野の策定 H24.11月 重点分野公表 H26.2月 追加改定(書枠) H29.10月 追加改定(赤枠)</p>	<p>○装着</p>  <p>・高齢者等の外出をサポートし、転倒予防や歩行等を補助するロボット技術を用いた装着型の移動支援機器</p>	<p>○動作支援</p>  <p>・ロボット技術を用いてトイレ内での下衣の着脱等の排泄の一連の動作を支援する機器</p>	<p>○生活支援</p>  <p>・高齢者等とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器</p>	<p>○在宅</p>  <p>・在宅介護において使用する、転倒検知センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム</p>
<p>○介護業務支援</p>  <p>・ロボット技術を用いて、見守り、移動支援、排泄支援をはじめとする介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、それを基に、高齢者等の必要な支援に活用することを可能とする機器</p>				

### (3) 協力機関

令和4年5月9日～6月10日までの期間、募集を行い、9カ所から応募があり審査の結果、下記の6カ所に選定した。

N o	開催地	開催日	機関名
1	石川県	10月8日(土)	一般社団法人日本福祉用具供給協会 石川県ブロック
2	長野県	11月25日(金)	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会
3	静岡県	1月12日(木)	公益財団法人介護労働安定センター静岡支部
4	山口県	1月14日(土)	社会福祉法人暁会
5	佐賀県	10月16日(日)	佐賀県在宅生活サポートセンター
6	長崎県	10月11日(火)	公益財団法人ながさき地域政策研究所

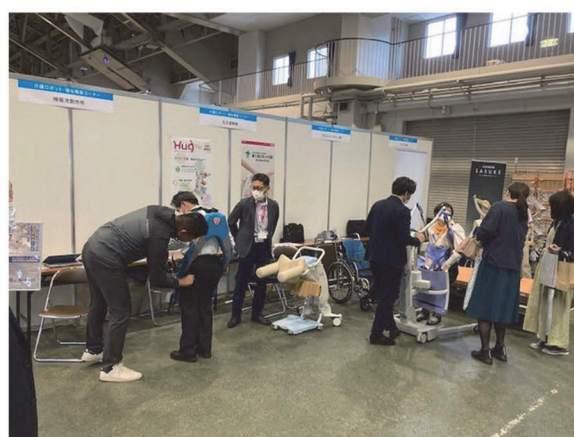
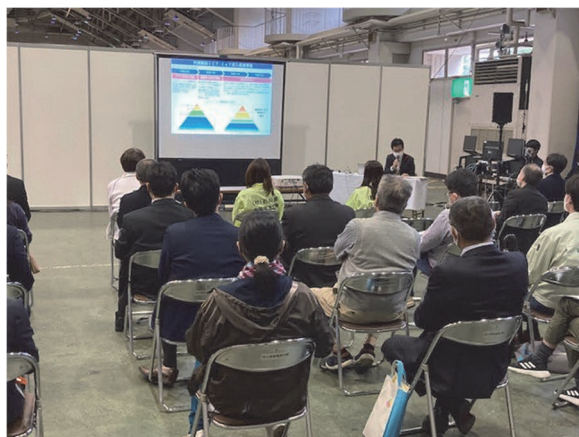


#### (4) 各協力機関の実施概要

##### ①石川県

協力機関	一般社団法人日本福祉用具供給協会 石川県ブロック
実施日時	令和4年10月8日(土) 10:00~16:00
実施場所	石川県産業展示館3号館
来場者数	2,500名(うち、介護ロボット展示ブース800名)
出展者数	23社
シンポジウムの内容	①石川県健康福祉部長寿社会課長 「石川県の介護ロボット導入支援の取組み紹介」 ②社会福祉法人希清軒傳六会 「介護ロボット導入事例紹介」
その他	オンライン配信による商品紹介

#### 【開催の様子】



## ②長野県

協力機関	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会
実施日時	令和4年11月25日（金）10:00～16:00
実施場所	J A 長野県ビル
来場者数	50名
出展者数	14社
シンポジウムの内容	<p>①長野県 「介護ロボット普及推進への取り組みについて」</p> <p>②NTTデータ経営研究所 「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業の紹介」</p> <p>③介護・生活支援ロボット普及推進協議会 「ケーススタディから学ぶロボット・ICTの効果的な活用について」</p> <p>④かながわ福祉サービス振興会 「介護現場を取り巻くIT利活用の現状について」</p>
その他	「介護・生活支援ロボット普及推進協議会」の活動紹介について、ガイドブックを配布。



### ③静岡県

協力機関	公益財団法人介護労働安定センター 静岡支部
実施日時	令和5年1月12日（木）11:00～16:00
実施場所	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ10階
来場者数	66名
出展者数	19企業
シンポジウムの内容	①静岡県介護保険課 「静岡県における介護分野ICT化等導入支援の取組」 ②三幸福社会 「介護への次世代介護機器とICT導入」 ③テクノエイド協会 「福祉用具・介護ロボットの施策の動向」
その他	ブース内に、「ミニ相談コーナー」を設置し、専門家（ICTや業務効率化等のコンサルタント）に常駐してもらい、参加者（介護事業所）からの各種相談対応を展開

### 【開催の様子】



#### ④山口県

協力機関	社会福祉法人暁会
実施日時	令和5年1月14日（土）10:00～15:00
実施場所	海峡メッセ下関 イベントホール
来場者数	63名
出展者数	12社
シンポジウムの内容	①国立長寿医療研究センター 「高齢者の歩行と認知機能」 ②早稲田大学理工学術院総合研究所 「共感型バイオフィードバックシステムによる高齢者の歩行自立支援」
その他	山口県における導入支援について（山口県健康福祉部長寿社会課）

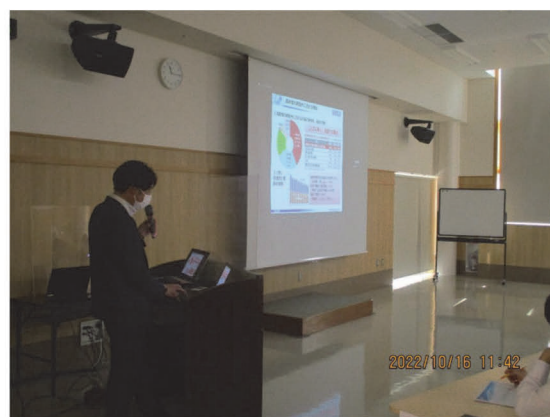
#### 【開催の様子】



⑤佐賀県

協力機関	佐賀県在宅生活サポートセンター
実施日時	令和4年度10月16日(日) 10:00~15:00
実施場所	さがサポートセンターいきいき館
来場者数	155名(来場143名、オンライン12名)
出展機器数	16社
シンポジウムの内容	<p>①佐賀県健康福祉部長寿社会課 「介護現場へのロボット導入に向けた佐賀県の取り組み」</p> <p>②社会福祉法人未来 花のみね弐番館 「介護ロボットを導入して」</p> <p>③九州介護ロボット開発・実証・普及促進センター 「介護ロボット開発・実証・普及のプラットフォームのご紹介」</p> <p>④佐賀県在宅生活サポートセンター 「佐賀県の介護ロボットについての意識調査」</p> <p>⑤出展企業 「介護ロボットのプレゼンテーション」</p>
その他	抱えない介護ミニ講座、バリアフリーモデル住宅見学・相談会、電動車いす、電動カー試乗体験、介護ロボットの意識調査の実施

【開催の様子】



⑥長崎県

協力機関	公益財団法人ながさき地域政策研究所
実施日時	令和4年10月11日（火） 11：00～16：00
実施場所	長崎県立総合体育館メインアリーナ
来場者数	229名
出展者数	33社
シンポジウムの内容	<p>①厚生労働省 老健局高齢者支援課 「介護ロボットに関する国の施策について」</p> <p>②公益財団法人テクノエイド協会 「介護ロボットの開発と効果的な利用について」</p> <p>③北九州市介護ロボット等導入支援・普及促進センター 「九州地区の介護ロボット開発・実証・普及のプラットフォーム事業の紹介」</p> <p>④長崎県福祉保健部長寿社会課 「介護ロボット・ICTの普及へ向けた長崎県の取組み」</p> <p>⑤医療法人和光会 「長崎県内介護施設の先進的な取組み事例」</p>

【開催の様子】



※各地域フォーラム別のアンケート結果については、資料編2を参照のこと。

## 2. 介護ロボット全国フォーラムの開催

### (1) 趣旨

厚生労働省と経済産業省が連携して行う介護ロボットに係る各種事業の進捗報告を行い、開発・普及に向けた先駆的な取組事例の紹介等をシンポジウムという形式で行った。本シンポジウムは会場の他、オンラインによるリアルタイム視聴も可能とした。

また、最新機器の展示、体験、相談を会場にて実施し、介護施設サービス事業者への導入の参考としたり、新規参入を検討する開発企業に対し普及を行った。

### (2) 開催概要

日時：令和5年1月27日（金） 11：00～16：30

場所：TOC有明4階コンベンションホール（東京都江東区有明3-5-7）

手法：会場参加、オンライン参加（シンポジウムのみ）

#### 【主な内容】

○WESTホール：開発企業40社による機器展示

○EASTホール：シンポジウム

※詳細は（4）シンポジウムの概要を参照。

### (3) 開催結果

会場とオンライン参加者を合わせると、746名の参加があった。なお、オンライン配信時、最も視聴数が高かったのは、成果報告時の241名であった。

それぞれの内訳は以下の通り。

- ①会場参加者：323名（事前登録者447名）
- ②オンライン参加者：述べ423名（事前登録者432名）

#### 【会場の様子】



#### (4) シンポジウムの概要

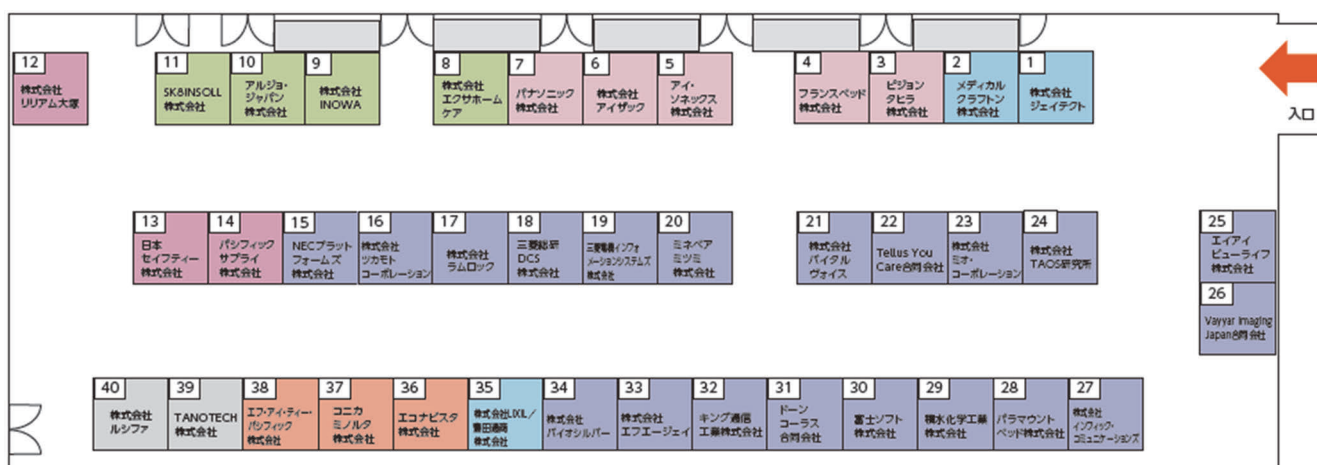
シンポジウムは入退場自由で実施し、「行政報告」「成果報告」「基調報告」の3つのセッションに区切って実施した。主な講演者及び、プログラムは以下の通り。

13:00	開会 挨拶(ビデオ) 公益財団法人テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策 司会 公益財団法人テクノエイド協会
13:10-13:50 (各20分) <b>行政報告</b>	<b>「介護現場の生産性向上について」</b> 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長 須藤 明彦氏 <b>「経済産業省におけるロボット介護機器産業政策について」</b> 経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 室長補佐 南須原 美恵氏
13:50-14:00	休憩
14:00-14:40 (各20分) <b>成果報告</b>	<b>「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の実施について」</b> 公益財団法人テクノエイド協会 企画部 松本 美樹子 <b>「介護ロボット開発・普及・実証のプラットフォーム事業について」</b> 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 先端技術戦略ユニット 足立 圭司氏
14:40-14:50	休憩
14:50-16:10 (各20分) <b>基調報告</b>	<b>テクノロジーを活用した未来介護の実践</b> <b>「A.I.歩行姿勢分析支援ツールの活用」</b> SOMPOケア株式会社 門真光の森ディサービス 中西 寿男氏 <b>「科学的介護に繋ぐ、デイサービスから生まれた運動プログラム自動作成システム」</b> 株式会社ルシファ 綿谷 美佐子氏 <b>ロボット・AIを活用した新たな介護システムの提案</b> <b>「入浴介助用製品 泡シャワー “KINUAMI U”</b> 株式会社LIXIL LWT 事業企画部 新規事業プロジェクト 平田 知明輝氏 豊田通商株式会社 ヘルスケア・メディカル事業部 第一G 吉田 雄氏 <b>「科学的介護の実践～画像IoTで大きく変わるアセスメントの質～」</b> コニカミノルタ株式会社 岡田 真和氏
16:10	閉会 公益財団法人テクノエイド協会

#### (5) 機器展示の概要

機器展示は、介護ロボット等の開発企業に出展者の募集を行い40社を選定した。会場では、デモの他、実際に試用して体験ができるなど、活発な意見交換が行われた。

#### 【会場レイアウト】





【出展企業一覧】

No	団体・企業名	機器名称	カテゴリ	No	団体・企業名	機器名称	カテゴリ
1	株式会社ジェイテクト	介護作業用パワーアシストスーツ J-PAS fleairy(ジェイパス フレアアリー)	移乗支援 (装着)	21	株式会社バイタルヴォイス	オンライン自動モニタリングシステム VitalVoice	見守り・コミュニケーション
2	メディカルクラフトン株式会社	DARWING Hakobelude (ダーウィン ハコベルデ)	移乗支援 (装着)	22	Tellus You Care合同会社	Tellus	見守り・コミュニケーション
3	ビジョントヒラ株式会社	電動昇降フルリクライニングキャリアー FC-320	移乗支援 (非装着)	23	株式会社ミオコーポレーション	ITSUMOアイ	見守り・コミュニケーション
4	フランスベッド株式会社	離床支援 マルチポジションベッド	移乗支援 (非装着)	24	株式会社TAOS研究所	見守りモニターAISleep	見守り・コミュニケーション
5	アイ・ソネックス株式会社	スカイリフト SL-2018R	移乗支援 (非装着)	25	エイ・アイ・ビューライフ株式会社	自立支援型見守りロボット [A.I.ViewLife]	見守り・コミュニケーション
6	株式会社アイザック	移乗ロボット keipu-Sb	移乗支援 (非装着)	26	Vayyar Imaging Japan合同会社	ミリ波レーダーセンサー Vayyar Care (バヤーカー)	見守り・コミュニケーション
7	パナソニック株式会社	施設向け歩行トレーニングロボット	移乗支援 (非装着)	27	株式会社インフィック・コミュニケーションズ	LASHIC-care (ラシクケア)	見守り・コミュニケーション
8	株式会社エクサホームケア	CareWiz トルト	移動支援	28	パラマウントベッド株式会社	眠りSCANを用いた見守り支援システム	見守り・コミュニケーション
9	株式会社INOWA	体感型歩行自立支援システム Arbre(アルブル)	移動支援	29	積水化学工業株式会社	見守りセンサー ANSIEL	見守り・コミュニケーション
10	アルジオ・ジャパン株式会社	サラ・フレックス	移動支援	30	富士ソフト株式会社	PALROビジネスシリーズ 高齢者福祉施設向けモデルII	見守り・コミュニケーション
11	SKBINSOLL株式会社	A.I.歩行姿勢分析支援システム Senno Gait セノグait	移動支援	31	ドーンコーラス合同会社	高齢者施設・障害者支援施設向け見守り支援・生活記録システム「もりん」	見守り・コミュニケーション
12	株式会社リリアム大塚	リリアムスポット2	排泄支援	32	キング通信工業株式会社	シルエット見守りセンサ	見守り・コミュニケーション
13	日本セイフティー株式会社	ラップボン・バケット	排泄支援	33	株式会社エフエージェイ	排泄センサーと離床・転倒・徘徊センサー	見守り・コミュニケーション
14	パシフィックサプライ株式会社	クイックレイザー2	排泄支援	34	株式会社バイオシルバー	aams	見守り・コミュニケーション
15	NECプラットフォームズ株式会社	NECサニタリー利用記録システム	見守り・コミュニケーション	35	株式会社LIXIL/豊通商株式会社	泡シャワー KINUAMI U	入浴支援
16	株式会社ツカモトコーポレーション	AlgoSleep (アルゴスリープ)	見守り・コミュニケーション	36	エコナビスタ株式会社	ライフリズムナビ+Dr.	介護業務支援
17	株式会社ラムロック	みまもりCUBE-システムLight-	見守り・コミュニケーション	37	コニカミノルタ株式会社	HitomeQ ケアサポート	介護業務支援
18	三菱総研DCS株式会社	Link&Robo for ウェルネス (高齢者施設向けコミュニケーションロボットサービス)	見守り・コミュニケーション	38	エフ・アイ・ディー・パシフィック株式会社	モノミルケア ~見守りセンサー+自動記録~	介護業務支援
19	三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社	AI x 見守りサービスkizkia-Knight (きづきあ-ないと)	見守り・コミュニケーション	39	TANOTECH株式会社	TANO	その他
20	ミネベアミツミ株式会社	①みまもりベッドセンサーシステム ②ベッドセンサーシステムベシック	見守り・コミュニケーション	40	株式会社ルシファ	tl-pro	その他

(6) パンフレットの作成

本シンポジウムでは、来場者が分かりやすく当日の情報を得るため、またオンライン視聴者も出展企業や機器の情報を取得できるよう、公式パンフレットを作成した。

厚生労働省「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」

**参加費  
無料**  
入退場自由

# 介護ロボット 全国フォーラム

テクノロジーを活用した未来の介護

令和5年  
**1/27** (金)  
11:00~16:30

開催場所  
**TOC有明**  
(東京都江東区有明)  
4階コンベンションホール  
WESTおよびEASTホール  
<https://www.toc-arake.jp/>

公益財団法人テクノエイド協会  
The Association for Technical Aids(ATA)


厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

本事業は厚生労働省の協力を得て「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」の一環として行われます。

### ■ 出展機器

**1 株式会社ジェイテクト**

介護作業用パワーアシストスーツ J-PAS fleairy(ジェイパス フレアアリー)




移乗支援 (装着)

〒448-8852 愛知県刈谷市南町1-11  
TEL.0666-26-5183

**2 メディカルクラフトン株式会社**

DARWING Hakobelude (ダーウィン ハコベルデ)




移乗支援 (非装着)

〒701-0203 岡山県山形町南町1125  
TEL.086-262-1770

**3 ビジョンタヒラ株式会社**


電動昇降フルリクライニングキャリアー FC-320



〒113-0005 東京都中央区日本橋久松町4-4  
TEL.03-3661-4312

**4 フランスベッド株式会社**

離床支援 マルチポジションベッド



〒1106-0052 東京都港区南青山4-1-16  
TEL.03-5548-2936

### 3. 介護ロボットメーカー連絡会議の実施

#### (1) 趣旨

生産年齢人口が減少していく一方、介護ニーズが増大していく中で、介護人材の確保は喫緊の課題であり、介護職員の負担軽減や介護現場の生産性向上を図り、さらには質の高いサービスを効率的に提供するため、介護現場へのテクノロジーの導入は不可欠となっている。

現在、介護分野における福祉用具・介護ロボット（以下、「介護機器」という。）は、様々な介護分野で、様々な主体により利用されており、今後さらに活用を推進するためには、介護現場のニーズをふまえた開発、介護現場への周知・体験機会の創出、機器を活用した介護技術・業務改善方法の構築等、開発・導入・普及・活用それぞれのフェーズで時宜を得た取組を実施する必要がある。

厚生労働省では、「令和4年度・介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」（以下、「介護ロボットのプラットフォーム事業」という。）において、介護ロボットの開発から普及までの一連の流れを加速化するために、地域における介護ロボットのニーズ側（介護現場等）・シーズ側（開発企業等）の一元的な相談窓口（地域拠点）、開発実証のアドバイス等を行うリビングラボのネットワーク、実際の介護現場における実証フィールドからなる、介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームを整備することとしている。

こうした背景のもと、関係企業に対して行政の動向及び介護ロボットに関する最新の取り組み状況等について周知するとともに、企業間等の情報共有や技術連携を通じて、介護ロボット開発のための新たなイノベーションの創出につなげることを目的とした「介護ロボットメーカー連絡会議（以下「本会議）」を開催することとした。

#### (2) 本会議の呼びかけ等

本会議の開催にあたって以下の条件に適した関係各所に周知し、819カ所に参加を促した。

- 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業において、モニター調査やアドバイス支援事業を行い、既に商品化した介護ロボット等のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含む。）
  - ロボット介護機器開発・標準化事業（以前の「ロボット介護機器開発・導入促進事業」を含む。）において採択され、既に商品化したロボット介護機器のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含む。）
  - 介護ロボット導入支援事業等において、採用された実績のある介護ロボットメーカー
  - 次世代の福祉用具・介護ロボットの開発研究を行う者及び、この分野への新規参入や技術応用を希望しており、技術シーズを有している企業や団体、研究機関等（ハイテクとローテクは問わないこととする。）
- ※ 参加呼びかけにあたっては、これまでの参加名簿に基づくテクノエイド協会からの周知に合わせ、経済産業省及び産業技術総合研究所、日本医療研究開発機構、日本ロボット工業会、ロボット革命イニシアティブ協議会、日刊工業新聞等にも周知を依頼。

### (3) 開催結果

- ① 日 時：令和4年6月17日（金）10：00～14：40
- ② 方 法：会場とWeb（Zoom）のハイブリット開催
- ③ 参加者：会場72名・Web214名（事前登録）

### (4) プログラム

行政報告
<b>○ 介護現場における生産性の向上について</b> 厚生労働省 老健局高齢者支援課 介護ロボット開発・普及推進室 室長補佐 佐々木 憲太 氏
<b>○ ロボット介護機器の開発等の方向性</b> 経済産業省 商務情報政策局ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 室長補佐 南須原 美恵 氏
情報提供
<b>○ 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業について</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 介護現場のニーズをふまえた介護機器の開発に係る取組みについて アドバイス支援及びモニター調査事業等の実施</li><li>・ 介護ロボット地域フォーラムの開催について</li><li>・ 都道府県における介護ロボットの開発・導入に係る助成事業について</li><li>・ 介護ロボットの試用貸出リスト等について</li><li>・ 福祉用具等の安全利用に関する情報の整理・報告・発信について</li><li>・ その他、令和4年度の主な事業の予定について</li></ul> 公益財団法人テクノエイド協会 五島 清国
<b>○ 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業について</b> 株式会社NTTデータ経営研究所 先端技術戦略ユニット 山内 勇輝 氏
取組報告
<b>○ プラットフォーム事業におけるリビングラボの機能について</b> スマートライフケア共創工房 柴田 智広 氏
<b>○ プラットフォーム事業における相談窓口の役割について</b> とちぎ福祉プラザモデルルーム 伊藤 勝規 氏
基調報告
<b>○ テクノロジーを活用した介護・高齢者向けサービスの開発と活用について</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 介護現場におけるICTを活用したケアの実践と開発企業との関わり 社会福祉法人隆生福祉会 加藤 正人 氏</li><li>・ 骨格認識AIによる見守り支援システムのモニター調査を終えて エコナビスタ株式会社 渡邊 君人 氏</li><li>・ 高齢者向けサービスの利便性向上に向けたICTの活用について NTTビジネスソリューションズ株式会社 高木 康彦 氏 ハッピーベル株式会社 福森 鉄雄 氏</li></ul>

※上記報告の詳細な資料は下記ページから取得可能。

[https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab24\\_detial](https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab24_detial)

## 4. 介護ロボット活用ミーティングの実施

### (1) 趣旨

少子高齢化の進展により、介護人材の不足が課題となる中、高齢者・障害者福祉の現場ではケアの質の確保や現場での負担軽減、介護人材の確保などの観点から、福祉用具・介護ロボット等のテクノロジーの活用を推進した、生産性向上に資する取組みが実施されている。

こうした背景のもと、介護ロボット等（福祉用具やICT機器を含む。）の導入・活用に関する情報交換の場として、「介護ロボット等活用ミーティング」を開催することとした。

本ミーティングでは、介護ロボット等の導入・利活用にあたっての工夫や課題を共有化し、介護現場における介護ロボット等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境の構築を目的とした。

### (2) 発表者の募集

開催日ごとにテーマを設け、介護ロボット等の利用に伴う工夫や課題、アイデア等について発表を希望する介護施設等を「介護ロボットの開発・実証フィールド」の登録事業者等から募集し、応募のあった施設から事例を紹介した。

### (3) 本ミーティングの呼びかけ等

本ミーティングの周知は郵送及びメールにて合計1,203カ所に実施した

#### 【A. 郵送リスト】

番号	区分名	件数
1	関係機関・団体	5件
2	マスコミ関係	38件
3	R3ロボット全国フォーラム視聴者（施設のみ）	95件
4	開発・実証フィールド登録者（メーカー・行政以外）	943件
5	都道府県	47件
合計		1128件

#### 【B. メールリスト（※）】

番号	区分名	件数
1	R4安全利用検討委員会	14件
2	R4事故・ヒヤリハット情報提供者（施設のみ）	61件
合計		75件

総計（A+B）	1203件
---------	-------

※B.メールは、本報告書10.「福祉用具等の安全利用に関する整理・報告・発信」の検討委員及び、調査の情報提供者を指す。

#### (4) 開催結果

全5回、各日付ごとにテーマを分けて実施した。

開催日	令和4年11月				
	14日 (月)	15日 (火)	16日 (水)	17日 (木)	18日 (金)
時間	13:00～15:00				
方法	オンライン (Zoom)				
テーマ	介護機器等を活用した生産性向上の取り組みを考えよう	介護機器等の安心・安全な利用を考えよう	介護機器等を活用した介護者の負担軽減、離職防止を考えよう	介護機器等の導入に伴う経営・費用対効果を考えよう	介護機器等とLIFEのデータ連携、重度化防止を考えよう
参加者数 (事前登録)	130名	90名	123名	102名	90名

#### (5) プログラム

11月14日 (月)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■厚生労働省・NTTデータ経営研究所資料 (全日共通) はこちら</li> <li>■活用ミーティング資料 (11月14日版) はこちら</li> </ul>	
テーマ	<b>A. 介護機器等を活用した生産性向上の取り組みを考えよう</b>
セッション1 (13:00～14:10)	<b>1. 介護ロボット等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう</b> ①介護ロボット等に関する最新情報など (10分) 介護現場における生産性向上の推進について ～介護ロボット等テクノロジーの普及促進の取り組み～ 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 介護ロボット政策調整官 佐々木 憲太 氏 ②介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム 相談窓口の取り組み (20分) 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームにおける相談窓口 (全国17か所) の取り組み NTTデータ経営研究所 シニアコンサルタント 山内 勇輝 氏 ③介護ロボット等の利用に伴う工夫や課題、アイデア等について (40分) 介護現場における介助指導と機器活用の実例と課題 ～本音で語ろう！ 介護現場で働くみんなの情報交換会～ 桜十字先端リハビリテーションセンター SACRA 田代 耕一 氏 スマート介護プラットフォーム (SCOP) の開発について 社会福祉法人善光会 宮本 隆史 氏
個人ワーク (14:10～14:15)	<b>2. 現状と課題の整理</b> セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理
セッション2 (14:15～15:00)	<b>3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう (介護ロボット等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化)</b> オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行きましょう
11月15日 (火)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■厚生労働省・NTTデータ経営研究所資料 (全日共通) はこちら</li> <li>■活用ミーティング資料 (11月15日版) はこちら</li> </ul>	
テーマ	<b>B. 介護機器等の安心・安全な利用を考えよう</b>
セッション1 (13:00～14:10)	<b>1. 介護ロボット等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう</b> ①介護ロボット等に関する最新情報など (10分) 介護現場における生産性向上の推進について ～介護ロボット等テクノロジーの普及促進の取り組み～ 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 介護ロボット政策調整官 佐々木 憲太 氏 ②介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム 相談窓口の取り組み (20分) 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームにおける相談窓口 (全国17か所) の取り組み NTTデータ経営研究所 シニアコンサルタント 山内 勇輝 氏 ③介護ロボット等の利用に伴う工夫や課題、アイデア等について (40分) 新型コロナウイルス罹患者の療養生活と罹患前後の変化を見守り機器を活用して支える サービス付き高齢者向け住宅 リハ・ハウス来夢 矢代 虎太郎 氏 福祉用具の活用とヒヤリハット事例について 特別養護老人ホーム 砧ホーム 鈴木 健太 氏
個人ワーク (14:10～14:15)	<b>2. 現状と課題の整理</b> セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理
セッション2 (14:15～15:00)	<b>3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう (介護ロボット等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化)</b> オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行きましょう

11月16日(水)	
<p style="text-align: right;">■厚生労働省・NTTデータ経営研究所資料(全日共通)はこちら ■活用ミーティング資料(11月16日版)はこちら</p>	
テーマ	C. 介護機器等を活用した介護者の負担軽減、離職防止を考えよう
セッション1 (13:00~14:10)	<b>1. 介護ロボット等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう</b> <b>①介護ロボット等に関する最新情報など(10分)</b> 介護現場における生産性向上の推進について ~介護ロボット等テクノロジーの普及促進の取り組み~ 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 介護ロボット政策調整官 佐々木 憲太 氏
	<b>②介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム 相談窓口の取り組み(20分)</b> 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームにおける相談窓口(全国17か所)の取り組み NTTデータ経営研究所 シニアコンサルタント 山内 勇輝 氏
	<b>③介護ロボット等の利用に伴う工夫や課題、アイデア等について(40分)</b> ICT化に向けての取り組み 介護記録ソフト・ナースコールシステムの導入効果と活用方法 問題点 のんびり村通津、のんびり村花岡 安岡 智量 氏 他 ユニット型特養の業務課題解決に向けた支援ロボットの実証 介護老人福祉施設 よみうりランド花ハウス 橋本 政彦 氏 他
個人ワーク (14:10~14:15)	<b>2. 現状と課題の整理</b> セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理
セッション2 (14:15~15:00)	<b>3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう(介護ロボット等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化)</b> オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行いましょ
11月17日(木)	
<p style="text-align: right;">■厚生労働省・NTTデータ経営研究所資料(全日共通)はこちら ■活用ミーティング資料(11月17日版)はこちら</p>	
テーマ	D. 介護機器等の導入に伴う経営・費用対効果を考えよう
セッション1 (13:00~14:10)	<b>1. 介護ロボット等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう</b> <b>①介護ロボット等に関する最新情報など(10分)</b> 介護現場における生産性向上の推進について ~介護ロボット等テクノロジーの普及促進の取り組み~ 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 介護ロボット政策調整官 佐々木 憲太 氏
	<b>②介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム 相談窓口の取り組み(20分)</b> 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームにおける相談窓口(全国17か所)の取り組み NTTデータ経営研究所 シニアコンサルタント 山内 勇輝 氏
	<b>③介護ロボット等の利用に伴う工夫や課題、アイデア等について(40分)</b> 福祉用具導入による費用対効果 施設中間管理職の立場から なごやかハウス滝ノ水 瀧田 信 氏 テクノロジー活用による科学的介護の実践と経営効果 株式会社日本総合研究所 紀伊 信之 氏
個人ワーク (14:10~14:15)	<b>2. 現状と課題の整理</b> セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理
セッション2 (14:15~15:00)	<b>3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう(介護ロボット等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化)</b> オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行いましょ
11月18日(金)	
<p style="text-align: right;">■厚生労働省・NTTデータ経営研究所資料(全日共通)はこちら ■活用ミーティング資料(11月18日版)はこちら</p>	
テーマ	E. 介護機器等とLIFEのデータ連携、重度化防止を考えよう
セッション1 (13:00~14:10)	<b>1. 介護ロボット等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう</b> <b>①介護ロボット等に関する最新情報など(10分)</b> 介護現場における生産性向上の推進について ~介護ロボット等テクノロジーの普及促進の取り組み~ 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 介護ロボット政策調整官 佐々木 憲太 氏
	<b>②介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム 相談窓口の取り組み(20分)</b> 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームにおける相談窓口(全国17か所)の取り組み NTTデータ経営研究所 シニアコンサルタント 山内 勇輝 氏
	<b>③介護ロボット等の利用に伴う工夫や課題、アイデア等について(40分)</b> 介護業務支援プラットフォームとデータ活用による科学的介護の実践 パナソニック株式会社 山岡 勝 氏 画像IoTで実現する科学的介護 コニカミルタ株式会社 岡田 真和 氏
個人ワーク (14:10~14:15)	<b>2. 現状と課題の整理</b> セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理
セッション2 (14:15~15:00)	<b>3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう(介護ロボット等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化)</b> オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行いましょ

## 5. 介護現場のニーズをふまえた介護機器の開発支援に係る取組

### (1) 目的

本事業は、高齢者介護の現場において、高齢者の尊厳ある自立した生活の保障を目指すための「福祉用具・介護ロボット（以下「介護ロボット等」。）」について、実用化を促す環境を整備し、企業による製品化を促進することを通じて、要介護者の自立支援や介護者の負担軽減を図ることを目的とした事業である。

本事業を開発フェーズに応じて3つの事業から構成し、使用する側の「ニーズ」と開発する側の「シーズ」をマッチングする取り組みを行った。

- ① 介護現場と開発企業の意見交換実施事業
- ② 試作介護機器へのアドバイス支援事業
- ③ 介護ロボット等モニター調査事業

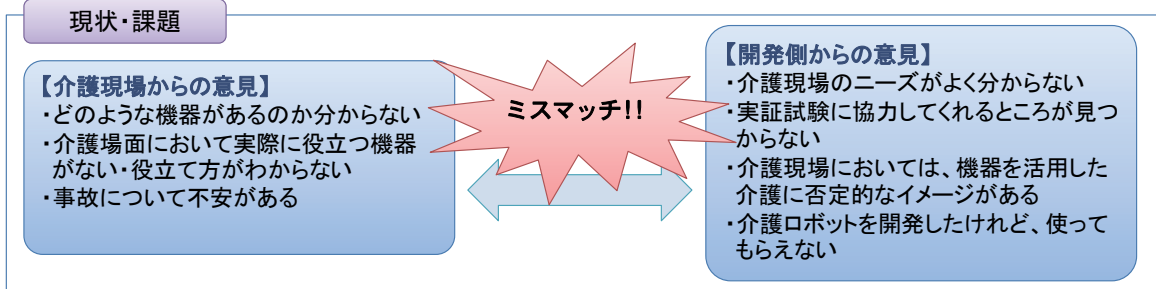
## 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 厚生労働省

**背景**

急激な高齢化の進展にともない、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズは益々増大する一方、核家族化の進行や、介護する家族の高齢化など、要介護高齢者を支えてきた家族をめぐる状況も変化している。

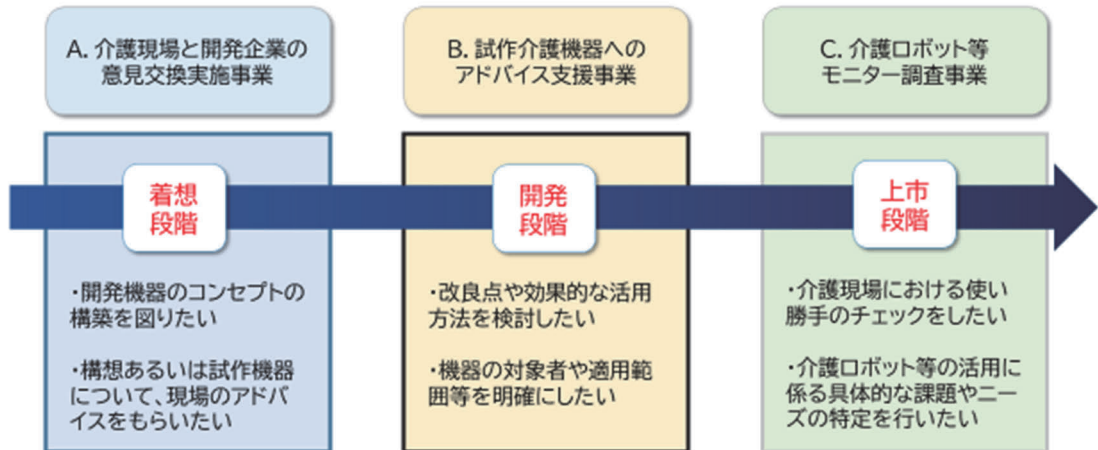
また、介護分野においては、介護従事者の腰痛問題等が指摘されており、人材確保を図る上では、働きやすい職場環境を構築していくことが重要である。

このような中で、日本の高度な水準のロボット技術を活用し、高齢者の自立支援や介護従事者の負担軽減が期待されている。



**マッチング支援**

介護現場のニーズに適した実用性の高い介護ロボットの開発が促進されるよう、開発の早い段階から現場のニーズの伝達や試作機器について介護現場での実証等を行い、介護ロボットの**実用化を促す環境を整備する。**



## (2) 対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとしたが、高齢者の行動の自由を制限する可能性のある機器は対象外とした。

◆目的要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- 介護職員の間接業務を軽減するための機器

◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器  
（※）①カセンサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・標準化事業」や「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

## (3) 事業内容

### ① 介護現場と開発企業の意見交換実施事業

#### 【概要】

開発コンセプトの段階（実機不要）や開発中（試作段階）の介護ロボット等について、介護施設等での自由な意見交換を行い、当該機器の課題や改良点及び、効果的な活用方法等について話し合いを行う。

#### 【募集対象者】

- 開発コンセプトの段階（実機不要）や開発中（試作段階）にある介護ロボット等のメーカー
- 介護現場等での意見交換を通じて、開発機器のコンセプトの構築を図りたいメーカー
- 構想あるいは試作介護機器について、現場のアドバイスをもらいたいメーカー

#### 【実施内容】

- 募集件数（先着順）  
10件程度
- 実施時期  
令和4年6月24日（金）～（※実施期間：1日～2日程度）
- 費用の交付  
介護職員等との意見交換：アドバイス協力費として、5万円

#### 【実施結果】

本事業は、令和4年6月24日より公募を開始し全部で6企業、10案件のマッチングを実施した。また、別冊「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2022」を作成した。詳細は第2章参照のこと。



【案件一覧】

機器名称	応募事業者	協力機関
小型 RODEM (馬乗り型電動車 いす) の開発	(株) テムザック	介護付き有料老人ホーム 夕佳ゆめみがさき
		介護老人保健施設 エルダリーガーデン
V i - n u r s e 新見守 りカメラ	アイホン (株)	有料老人ホームええなもはうす
		社会福祉法人 櫛会
		社会福祉法人信和会 特別養護老人ホームおきな杜
オゾン 電解微細気泡水床 上入浴ユニット	(株) アクアエコテック	—
見守りセンサー	(株) アート	社会福祉法人シルブアーウィング 特別養護老人ホームみさよはうす富久
		特別養護老人ホーム六甲の館
電動ドアクローザーSW-60	(株) アッサアプロイジ ヤパン	社会福祉法人播陽灘 特別養護老人ホームいやさか苑
尿量計測ソリューション	I T b o o k テクノロ ジー (株)	介護老人保健施設エルダーランド
		小規模多機能ホームみんなの家かるがも

※上記案件の詳細な実施概要については、別冊として作成した「福祉用具・介護ロボットの開発と普及 2022」の第2章を参照されたい。

## ② 試作介護機器へのアドバイス支援事業

### 【概要】

開発中にある介護ロボット等又は、上市して間もない（1年以内）介護ロボット等について、福祉用具や高齢者に係わる専門職等が試用等を行い、専門的なアドバイスを行うことにより、適用対象者の想定を行うとともに、真に必要とされる機能や性能の検討を行い、もって使用場面のニーズを的確に捉えた機器開発を促すこととする。

### 【募集対象者】

- 開発中又は、上市して間もない（1年以内）介護ロボット等があり、改良点や効果的な活用方法を検討したいメーカー
- 機器の対象者や適用範囲等を明確にしたいメーカー

### 【実施内容】

- 募集件数（先着順）  
15件程度
- 実施時期  
令和4年6月24日（金）～（※実施期間：1週間～1ヶ月）
- 費用の交付  
介護職員等との意見交換：アドバイス協力費として、8万円

### 【実施結果】

本事業は、令和4年6月24日より公募を開始し全部で8企業（9機器）、15案件のマッチングを実施した。また、別冊「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2022」を作成した。詳細は第3章参照のこと。

### 【案件一覧】

機器名称	応募事業者	協力機関
介護施設で働く看護師様向け薬の配膳仕分けロボット	リコーテクノロジーズ（株）	介護付き有料老人ホーム 夕佳ゆめみがさき
		社会福祉法人シルヴァーウィング 特別養護老人ホーム新とみ
使用済み紙オムツ処理機	（株）LIXIL	介護老人保健施設アルボース
		特別養護老人ホーム なごやかハウス滝ノ水
Megaring	（株）シンセイコーポレーション	社会医療法人杏嶺会 尾西記念病院
		evergreen SUPPORT OFFICE
AIカメラによる介護向け見守りシステム	（株）シンセイコーポレーション	泉尾特別養護老人ホーム 大正園
体感型歩行自立支援システム	（株）INOWA	介護付き有料老人ホーム 夕佳ゆめみがさき
		社会福祉法人シルヴァーウィング

		特別養護老人ホーム新とみ
電動車椅子 movBot Nurse	アクセスエンジニアリング(有)	社会福祉法人シルヴァーウィング 特別養護老人ホーム みさよはうす土支田
		介護付き有料老人ホーム 夕佳ゆめみがさき
テレビ電話	(株)チカク	医療法人和同会 広島パークヒル病院
		社会福祉法人正和会 ケアコンプレックス大湯
アクアエコテック〈オゾ・エネルギー〉	(株)アクアエコテック	社会福祉法人シルヴァーウィング 特別養護老人ホーム みさよはうす富久
		医療法人和同会 広島パークヒル病院

※上記案件の詳細な実施概要については、別冊として作成した「福祉用具・介護ロボットの開発と普及 2022」の第3章を参照されたい。

### ③ 介護ロボット等モニター調査事業

#### 【概要】

開発中又は上市して間もない（1年以内）介護ロボット等について、介護現場における使い勝手のチェックや介護ロボット等活用に係る具体的な課題やニーズの特定等を行い、もって企業が当該機器を開発又は改良する上で有用となる情報を収集するためのモニター調査を行う。また、モニター調査と合わせて実証試験を行うことも可能とした。

#### 【募集対象者】

- 本モニター調査においては、テクノエイド協会が募集要項に示す枠組みに即したモニター調査を行う企業等を対象とする。
- 効果的なモニター調査を推進する観点から、専門職等による助言・指導及び協力施設等とのマッチングを希望する企業等を対象とする。

#### 【実施内容】

- 募集件数（先着順）  
10件程度
- 実施期間  
1ヶ月～6ヶ月程度（協力施設等と要相談）
- 費用の交付  
モニター協力費として、15万円（応募企業に対する費用は交付なし）
- 実施の留意点
  - ・モニター調査を希望する企業とモニター調査に協力していただける介護施設等とのマッチングを一つの目的とした。
  - ・モニター調査の内容はテクノエイド協会のホームページより、情報提供を行うため、それに同意することとした。
  - ・適切かつ効果的なモニター調査を推進する観点から、モニター調査の計画作成及び実施にあたって、テクノエイド協会が設置するモニター調査検討委員会から指導・助言を行うこととした。
  - ・モニター調査は利用者の同意を得て実施することとし、また、実証試験を行う際には、倫理審査の実施を必須とした。

#### 【モニター調査検討委員会の設置】

モニター調査案件の選考にあたっては、協会に設置するモニター調査検討委員会の審議を経て決定することとした。

検討委員の具体的な役割としては、モニター調査を行うことの妥当性等について、事前確認を行うとともに、当該機器の開発者が介護施設等において、より効果的なモニター調査が行えるよう、専門的な視点からアドバイスを行った。

【モニター調査検討委員 一覧】

(委員)

(五十音順・敬称略)

氏名	所属機関
市川 洸	福祉技術研究所株式会社
鈴木 健太	社会福祉法人 友愛十字会 特別養護老人ホーム 砧ホーム
鈴木 光久	社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団
福辺 節子	一般社団法人白新会 Natural being
古田 恒輔	神戸学院大学 総合リハビリテーション学部
山内 繁	NPO法人支援技術開発機構
渡邊 慎一	社会福祉法人横浜市総合リハビリテーションセンター

◎委員長

(オブザーバー)

(敬称略)

東 好宣	厚生労働省 老健局 介護ロボット開発・普及推進室
佐々木 憲太	厚生労働省 老健局 介護ロボット開発・普及推進室
長倉 寿子	厚生労働省 老健局 介護ロボット開発・普及推進室
須賀 祐太	厚生労働省 老健局 介護ロボット開発・普及推進室

【モニター調査検討委員会の開催】

- 第1回モニター調査検討委員会
  - ・日時：令和4年8月9日（火）10：00～14：50
  - ・方法：オンライン（Zoom）
  - ・内容：
 

応募結果についての報告  
 応募企業によるプレゼンテーション  
 採択候補案件の決定及び、指導すべきポイントの確認

● 第2回モニター調査検討委員会

- ・日時：令和5年2月20日（月）10：00～14：30
- ・方法：オンライン（Zoom）
- ・内容：

採択企業による成果報告  
今年度のモニター調査を振り返り、委員よりコメントを頂いた

【実施結果】

本事業は令和4年6月24日～7月22日まで募集を行い、11企業より応募があり、事務局審査及び先述したモニター調査検討委員会を経て、9企業を採択した。

開発・実証フィールドの登録施設に募集を行った結果、すべての案件でモニター調査を実施することができた。

また、別冊「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2022」を作成した。詳細は第4章参照のこと。

【案件一覧】

機器名称	応募事業者	協力機関
【見守り】 Care-Top	(株) シンセイコーポレーション	社会福祉法人はなさきむら 特別養護老人ホームはなみずき
【入浴支援】 泡シャワーKINUAMI U	(株) LIXIL	社会福祉法人湖星会 特別養護老人ホームラスール坂下
		医療法人和同会 広島パークヒル病院
【排泄支援】 Aiserv 排泄検知システム	新東工業 (株)	社会福祉法人シルヴァーウィング 特別養護老人ホーム みさよはうす富久
		友愛十字会 砧ホーム
【排泄支援】 NECサニタリー利用記録システム	NECプラットフォームズ (株)	介護老人保健施設 ほのぼの苑
		友愛十字会 砧ホーム
【見守り】 AlgoSleep 介護用見守りセンサー	(株) ツカモトコーポレーション	戸山いつきの杜 小規模多機能型居宅介護

【その他】 A. I. 歩行姿勢診断システム「セノゲイト」	S K 8 I N S O L L (株)	SOMPOケア(株) 門真光の森デイサービス
【見守り】 オンライン自動モニタリングシステム「つながるくん」	(株) バイタルヴォイス	社会福祉法人湖星会 特別養護老人ホームラスール坂下
【見守り】 ベッド内蔵センサを利用した見守りシステム	パラマウントベッド (株)	介護老人保健施設 ソフィア都筑
【移乗支援】 ピクト(横移乗支援機)	(株) ハイレックスコーポレーション	医療法人和同会 広島パークヒル病院

※上記案件の詳細な実施概要については、別冊として作成した「福祉用具・介護ロボットの開発と普及 2022」の第4章を参照されたい。

今回のモニター調査の概要

番号	開発機器名	調査の概要
1	<p>【見守り】 Care-Top</p>	<p>【調査のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り、機能性確認</li> <li>・運用シーンでの効果・課題確認</li> <li>・ユーザビリティ（使いやすさ）の確認</li> </ul> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理画面での状況把握や睡眠リズムの把握により介護職員負担軽減に繋がる。（訪室回数軽減、転倒防止減等）</li> </ul> <p>②想定環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi環境。</li> </ul> <p>【委員の指摘事項】</p> <p>ユーザビリティについてはJIS規格に準じて認識すること</p> <p>【指摘への対応】</p> <p>ユーザビリティ（JIS Z 8521:2020の定義として「ユーザーの目標とは製品、システムまたはサービスを利用することではなく、Care-Topを利用して意図した成果を達成すること」との考え方および意図を明示した結果である）の考え方を改めて認識し、施設様がCare-Topを利用し、どのような成果（効果）を得られたかをヒアリングでき、次期モデル開発にも有意のあるものとなった。</p>
2	<p>【入浴支援】 泡シャワーKINUAMI U</p>	<p>【調査のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介助者の入浴介助にかかる負担の軽減に関する定量的／定性的な効果の確認</li> <li>・被介助者の入浴に関する皮膚への負担軽減、および入浴の満足度向上に関する確認</li> <li>・利用に伴う障壁の有無やより適切な運用方法（作業フロー等）の検証</li> </ul> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴介助時の使用を想定。</li> </ul> <p>②想定環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お湯が出る浴室水栓を有した浴室環境。</li> </ul> <p>【委員の指摘事項】</p> <p>①満足度など主観的コメントだけではエビデンスとして弱いので、満足度も客観データとして測定できると良い。</p> <p>②前後比較のできる研究デザインになっているので、</p>



		<p>エンドポイントを決めて仮説検定の方法による検証実験を行うこと。高いレベルのエビデンスとなる。</p> <p>③陰部洗浄に関する現場の声を集約してみてはどうか。</p> <p>④泡を出す性能が高そうだが、浴槽内での移乗時にすずぎが悪く足元スリップ事故などないように、導入説明や伝達を充分に行ってほしい。</p> <p>【指摘への対応】</p> <p>①定性データだけでなく、複数の評価スケールを用いて定量的データも取得した。</p> <p>②仮説を定め、ご助言通り実施した。</p> <p>③陰部を含めた全身の洗身を対象とした。</p> <p>④ご指摘通り施設様へはご説明をし、事故ゼロで完了した。</p>
3	<p>【排泄支援】 A i s e r v 排泄検知システム</p>	<p>【調査のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の排泄（便）を検知し、速やかにおむつ交換ができることで、介護業務の負担軽減につながったのか等を意見抽出</li> <li>・前回の A i s e r v 排泄検知システムのモニター調査と比較し、改良後の評価確認</li> </ul> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面 おむつを付けている利用者で、排便がでて気づかない、又は表現できない利用者に使用。</p> <p>②想定環境 ・ W i - F i 環境。</p> <p>【委員の指摘事項】</p> <p>①モニターアンケート項目につき、スコアリング形式では性質が違う項目を混ぜないほうが良いと感じる。</p> <p>②電池がもう少し長く持つと良い。</p> <p>③おむつセンサー挿入場所の違いによって誤報やおならとの嗅ぎ分けミスが生じないか。</p> <p>④感度調整だけで対応できるのか。</p> <p>⑤挿入場所が一定にしないといけないようでは、介護士の気遣いが増えるのではないか。</p> <p>【指摘への対応】</p> <p>①アンケート形式で、聞き取ることにし、項目をしぼり、質問することとした。</p> <p>②新しく開発する排泄センサーは、寿命を延ばす予定。</p> <p>③四肢麻痺にある利用者を使用した場合、取り付け位置で変わるか確認した。</p> <p>④感度調整だけでは精度は難しく、現在他のプログラ</p>

		<p>ムも検討している。</p> <p>⑤介護士に確認し排便で困っている方は、位置を変えて対応。</p>
4	<p>【排泄支援】</p> <p>NECサニタリー利用記録システム</p>	<p>【調査のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員の作業時間の改善効果の確認</li> <li>・介護職員の精神的負担の改善効果</li> <li>・その他のニーズの抽出</li> </ul> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレでの排泄介助およびそれに付帯する作業。</li> </ul> <p>②想定環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、スマートフォン、タブレットなどのICT機器。</li> </ul> <p>【委員の指摘事項】</p> <p>介護者の状態に対して標準的な指標値としてZartiの使用の推奨。</p> <p>【指摘への対応】</p> <p>今回提案いただいたZartiの適用と、BIC-11を検討したがどちらも在宅向けの指標だったので使い辛く、指導頂いている大学へ相談をして、過去使用実績のある別指標を用いることとした。</p>
5	<p>【見守り】</p> <p>AlgoSleep 介護用見守りセンサー</p>	<p>【調査のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の利用者の睡眠傾向と適切な支援時間の把握確認</li> <li>・職員の支援変更が、利用者のQOLや睡眠の質向上に繋がるか</li> <li>・職員の支援変更が、職員の見守り業務負担軽減につながるのか</li> </ul> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の居室ベッドにセンサーを設置し、夜間の睡眠情報をデータ取得。</li> </ul> <p>②想定環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居室内にベッドがあること（宿泊型の施設であること）。</li> <li>・居室内にWi-Fi電波が届く環境であること。</li> <li>・夜間訪室記録・介助記録・ご利用者様の様子などの記録の開示。</li> </ul> <p>【委員の指摘事項】</p> <p>①歩数計の代わりに運動量計とした方がよいのではないか。</p> <p>②推定精度が実用ならば有用と思われるリスクも少なく</p>

		<p>見える。</p> <p>③業務効率化が今回の調査目標ですが、歩数のみでの評価で良いでないか？表示のリアルさや表示のタイミング、アラートのタイミングなどのリアル間などどのように評価するのか。</p> <p>【指摘への対応】</p> <p>施設の意向を初回の打合わせでお伺いしたところ、今回の調査では、睡眠分析データ機能に関する調査に絞った実証をご希望されており、委員様からのご指摘に関係する調査実証（歩数による業務量の測定データによりセンサーの有り無しで業務量比較）に関してご要望でないこと、リアル感という点に関しても、モニター協力施設様では既に起き上がり検出機能を持つ他社ベットセンサーを導入済であるため、該当する機能に対する評価を検討していないとの意見を尊重した。</p>
6	<p>【その他】</p> <p>A. I. 歩行姿勢診断システム「セノゲイト」</p>	<p>【調査のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人員不足、時間がない介護スタッフが、日々の業務で簡単にセノゲイトを使うことができるか確認</li> <li>・歩行問題や足・靴の課題解決に、何がどう役立つのか確認</li> <li>・転倒予防や認知症予防などの介護予防にどの程度役に立つのか、現場の意見抽出</li> </ul> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別機能訓練や生活リハビリで転倒予防や歩行で認知症予防など、介護予防を重視したい高齢者施設。</li> </ul> <p>②想定環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットに繋がる。i p h o n e 1 0の準備。スマホアプリを操作できる。</li> </ul> <p>【委員の指摘事項】</p> <p>①単に測定機器を導入するのではなく、測定結果より解決策を提示し、課題解決になることが重要。</p> <p>【指摘への対応】</p> <p>①現場で実験をする前に、測定結果より解決策を提示し、課題解決になることが重要だということ介護スタッフや担当者に十分な時間をとって指導をした。</p>
7	<p>【見守り】</p> <p>オンライン自動モニタリングシステム「つながるくん」</p>	<p>【調査のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用感や使い勝手の確認と意見抽出</li> </ul> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用場面：介護施設、在宅介護、病床。</li> </ul> <p>②想定環境</p>

		<p>・施設PC 使用する場合と弊社PCを一時的にリモート通信する場合があります、居室毎に施設のネットワーク（LAN及びWi-Fi）環境の整備。</p> <p>【委員の指摘事項】</p> <p>①利用者だけでなく、介助対応するスタッフにも製品を試着し、介護する側のストレス計測も行ってはどうか。</p> <p>【指摘への対応】</p> <p>①今回のモニター施設様の介護スタッフ様数名にも製品をつけて頂き経過観察を行った。</p>
8	<p>【見守り】</p> <p>ベッド内蔵センサを利用した見守りシステム</p>	<p>【調査のねらい】</p> <p>以下の機能の介護業務における生産性向上に有用であるかの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離床予測機能における「職員の訪室回数削減」「通知のタイミング」</li> <li>・自動体重測定機能における「体重測定に関わる業務削減」「より高い頻度の測定確認意識の醸成」</li> </ul> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離床予測機能：見守り・巡視業務</li> <li>・体重計測機能：体重測定業務</li> </ul> <p>②想定環境</p> <p>特になし。</p> <p>【委員の指摘事項】</p> <p>①「生産性向上」と機能の紐づきを明確にした上で検証すること。</p> <p>【指摘への対応】</p> <p>①機能とその効果を明確にして検証を実施。</p>
9	<p>【移乗支援】</p> <p>ピクト（横移乗支援機）</p>	<p>【調査のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器使用者の適用範囲の確認（機器の効果を得られる対象者）</li> <li>・機器操作の習熟に要する期間。機器の有無、また類似製品と比較した際の機器の有用性。オプション品（腰ベルト）が必要場面確認。</li> </ul> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッド⇔車椅子、ポータブルトイレ、車椅子⇔トイレ等の移乗シーン。</li> </ul> <p>②想定環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器を使った移乗動作で介助者、被介護者が干渉しない空間（機器中心に直径150cm程度）。</li> </ul> <p>【委員の指摘事項】</p>

		<p>①想定する要介護度については高め（要介護3～5）の設定の方が、開発として次につながる結果が得られるのでは。</p> <p>②機器使用による介助者の下肢関節への負担を力学的に算出し、安全を担保してモニター実施すること。</p> <p>【指摘への対応】</p> <p>①モニター調査にて要介護2～5の方に使用頂き効果を確認。</p> <p>②力学的な計算で介助者の下肢関節の負担を計算し、安全を確認。</p>
--	--	---

※上記案件の詳細な実施概要については、別冊として作成した「福祉用具・介護ロボットの開発と普及 2022」の第4章を参照されたい。

## 6. 介護ロボットのプラットフォーム事業における実証フィールドのリスト

### (1) 趣旨

介護ロボット等の開発及び、効果の検証等をより一層推進することを目的とし、昨年度から名称を変更した「介護ロボット等の開発・実証フィールド」として募集を行った。

本取組みに賛同いただいた介護施設等の情報は、リスト化して蓄積し厚生労働省と情報共有を図った。

### (2) 登録対象

#### ①介護施設、リハビリテーションセンター等

- ・ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
- ・ 介護老人保健施設
- ・ 介護療養型医療施設
- ・ 介護医療院
- ・ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- ・ 特定施設入居者生活介護
- ・ 小規模多機能型居宅介護
- ・ 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
- ・ 看護小規模多機能型居宅介護
- ・ 養護老人ホーム
- ・ 経費老人ホーム
- ・ 有料老人ホーム
- ・ サービス付き高齢者向け住宅
- ・ 在宅介護サービス
- ・ 訪問介護・看護
- ・ 通所介護施設（デイサービス）
- ・ ショートステイ
- ・ 医療機関
- ・ リハビリテーションセンター
- ・ 障害者福祉施設
- ・ 福祉用具貸与サービス事業者
- ・ その他

#### ②都道府県、市町村等

- ・ 都道府県
- ・ 市町村
- ・ 介護実習・普及センター
- ・ 地域包括支援センター
- ・ その他


### (3) 協力施設等の募集

協力施設等の募集は、都道府県の介護ロボット事業を所管する担当窓口へメールで協力を促した。さらに「介護ロボット全国フォーラム」の公式パンフレットの裏面に登録募集の案内広告を掲載し、全ての来場者に対し募集を行った。

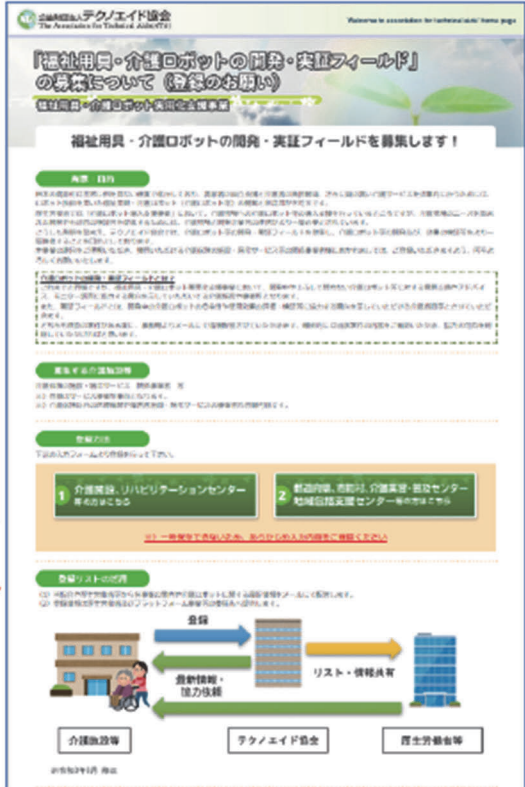
【全国フォーラムの公式パンフレット（裏面）】

## 「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド」の募集について


テクノイド協会では、介護ロボット等の開発及び、実証等をより一層推進するため、ご協力いただける介護福祉施設等を募集しています。



**テクノイド協会**



詳細はテクノイド協会ホームページをご確認下さい。  
皆様のご登録お待ちしております。



**事務局**

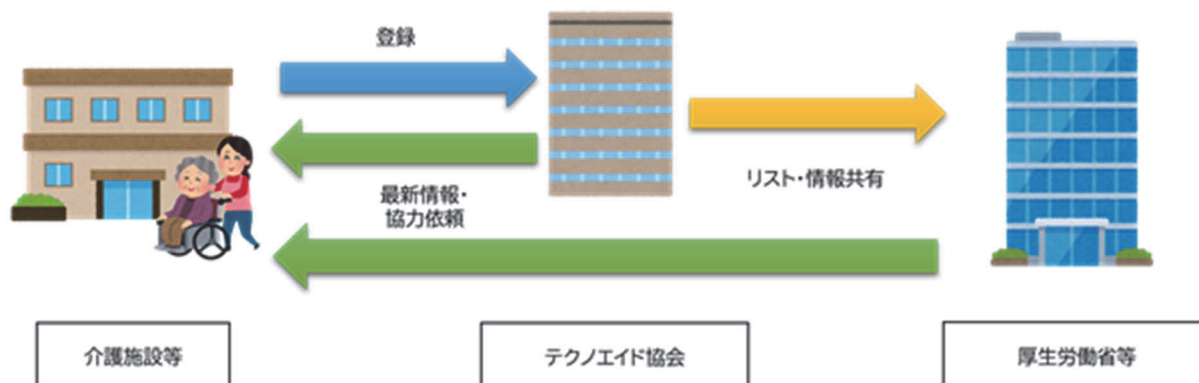
**公益財団法人テクノイド協会 企画部 谷田・松本・根石**

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階

電話番号 03(3266)6883 FAX 03(3266)6885

#### (4) 登録リストの活用

リスト化した情報は厚生労働省と情報共有を図り、各種事業のメール発出に利活用された。具体的には、「介護ロボット開発・普及・実証のプラットフォーム事業」や「介護ロボット等による生産性向上の取組に関する効果測定事業」等で活用した。

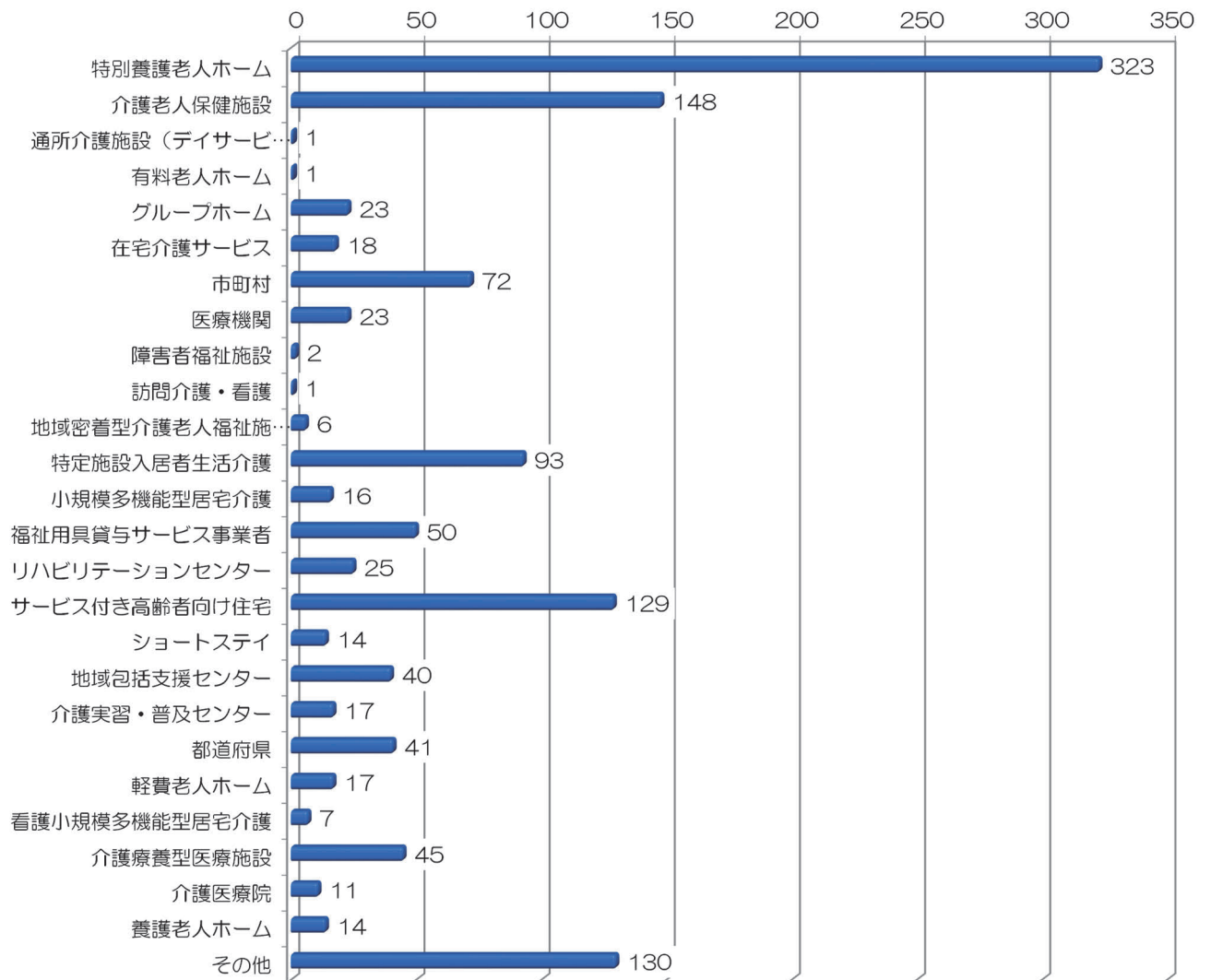


#### (5) 登録状況（令和5年2月時点）

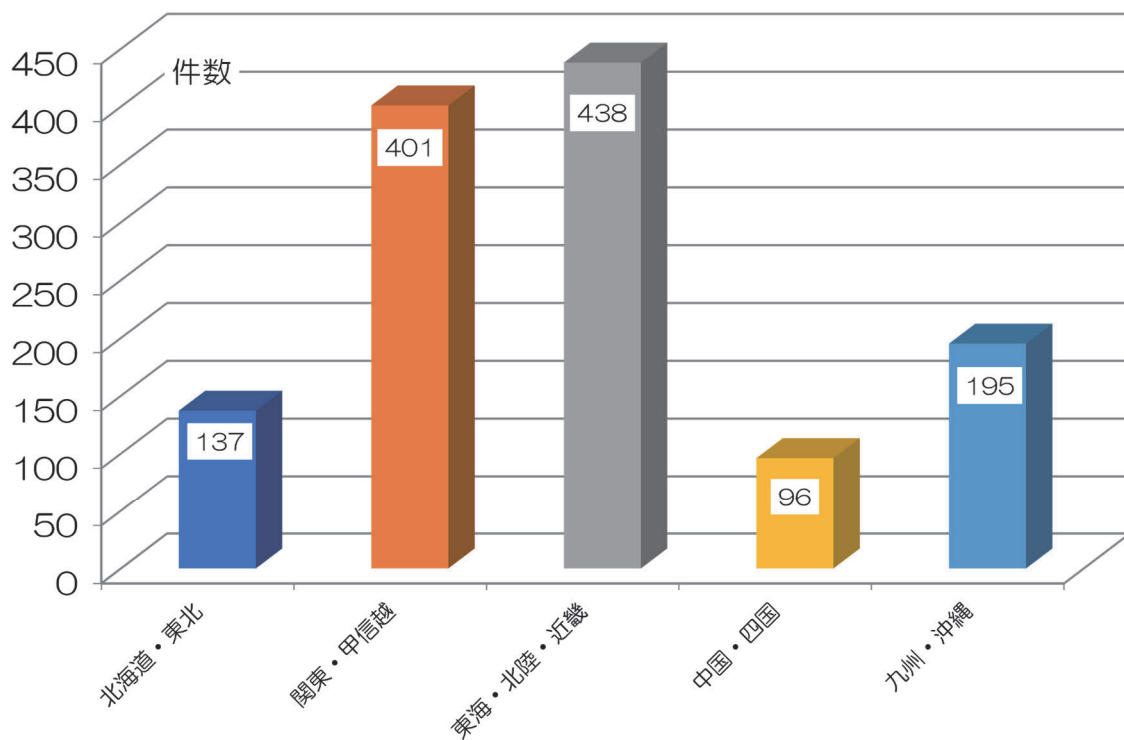
##### 【種別ごと登録状況】

登録件数（種別別）	
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	323件 (25.5%)
介護老人保健施設	148件 (11.7%)
介護療養型医療施設	1件 (0.1%)
介護医療院	1件 (0.1%)
特定施設入居者生活介護	23件 (1.8%)
小規模多機能型居宅介護	18件 (1.4%)
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	72件 (5.7%)
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	23件 (1.8%)
看護小規模多機能型居宅介護	2件 (0.2%)
養護老人ホーム	1件 (0.1%)
軽費老人ホーム	6件 (0.5%)
有料老人ホーム	93件 (7.3%)
サービス付き高齢者向け住宅	16件 (1.3%)
在宅介護サービス	50件 (3.9%)
訪問介護・看護	25件 (2.0%)
通所介護施設（デイサービス）	129件 (10.2%)
ショートステイ	14件 (1.1%)
医療機関	40件 (3.2%)
リハビリテーションセンター	17件 (1.3%)
障害者福祉施設	41件 (3.2%)
福祉用具貸与サービス事業者	17件 (1.3%)
都道府県	7件 (0.6%)
市町村	45件 (3.6%)
介護実習・普及センター	11件 (0.9%)
地域包括支援センター	14件 (1.1%)
その他	130件 (10.3%)
合 計	1267件 (100.0%)





登録件数(地域別)		
北海道・東北	137	(10.8%)
関東・甲信越	401	(31.6%)
東海・北陸・近畿	438	(34.6%)
中国・四国	96	(7.6%)
九州・沖縄	195	(15.4%)
	1267件	(100.0%)



## 7. 介護ロボットの試用貸出リストの作成

### (1) 趣旨

介護ロボット開発企業等に対して試用貸出への参加を募り、同意を得ることができた企業・製品名等を掲載した「介護ロボットの試用貸出リスト」を作成した。

リストへの掲載は、重点分野に該当する介護ロボットを基本とし、試用貸出を行うことに同意した企業の機器情報及び詳細情報を掲載した。

取り纏めたリストは、厚生労働省が実施する介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業の相談窓口において、開発企業と試用貸出を希望する介護施設等間の取次等で活用される。

これにより介護ロボットの効果的な導入支援・利活用を推進することとした。

### (2) 掲載の対象

重点分野に該当する分野の介護ロボットを基本として、介護ロボットメーカー連絡会議及び介護ロボットフォーラムへの参加企業及び、厚生労働省が行う「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」や経済産業省（AMED）が行う「ロボット介護機器開発・標準化事業」において開発支援を受けた機器等のうち、既に商品化している機器とした。

また、リスト掲載にあたっては、全国各地からの要望に応じる試用貸出を行うことに同意した企業の機器とした。

### (3) 掲載募集について

令和4年4月25日～5月18日まで募集を行い、掲載対象の機器に該当する64企業（71製品）を掲載した。

※資料編5を参照のこと。



各介護ロボットの仕様等については、令和2年度にテクノエイド協会にて作成した「介護ロボットの表示項目」に沿って情報収集した。

これにより現場における介護ロボットの比較検討に寄与することとした。

## 8. 介護ロボットの開発・導入に係る助成制度の調査

### (1) 開発に係る助成制度の調査

#### ① 目的

介護ロボット等の開発にあたり、各都道府県等において実施している、企業が活用できる助成制度を調査し、その結果を一覧に取り纏め、介護ロボット等の開発メーカー等へ提供するとともに、厚生労働省が行う「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム」の相談窓口やリビングラボネットワーク、研究機関等へ情報提供することとした。

また、結果の一覧については、当協会のホームページにも掲載した。

#### ② 調査対象

- ・ 都道府県及び政令指定都市、中核市における産業振興担当の窓口
- ・ 地域において介護機器の開発に係る助成事業を行っている法人等

#### ③ 調査内容

介護機器の開発にあたり、企業が活用できる助成制度の内容について、以下の事項について、調査することとした。

- ・ 事業の名称
- ・ 実施団体
- ・ 事業内容
- ・ 対象者
- ・ 範囲または条件
- ・ 公募期間
- ・ 予算規模
- ・ 実績
- ・ 主管課及び実施団体の窓口

④ 調査結果

調査対象に対し5月と11月の計2回の調査を実施し、最終的には全国で81件の事業について収集し、都道府県別に取りまとめた。

令和4年度 介護機器の開発に係る助成制度 一覧

更新日： 令和4年11月

本資料は、都道府県別に1シートに纏めています。

掲載総件数	81件
-------	-----

No.	都道府県	掲載件数
1	<a href="#">北海道</a>	3件
2	<a href="#">青森県</a>	5件
3	<a href="#">岩手県</a>	0件
4	<a href="#">宮城県</a>	3件
5	<a href="#">秋田県</a>	1件
6	<a href="#">山形県</a>	1件
7	<a href="#">福島県</a>	6件
8	<a href="#">茨城県</a>	1件
9	<a href="#">栃木県</a>	1件
10	<a href="#">群馬県</a>	2件
11	<a href="#">埼玉県</a>	1件
12	<a href="#">千葉県</a>	1件
13	<a href="#">東京都</a>	2件
14	<a href="#">神奈川県</a>	5件
15	<a href="#">新潟県</a>	4件
16	<a href="#">富山県</a>	2件
17	<a href="#">石川県</a>	1件
18	<a href="#">福井県</a>	1件
19	<a href="#">山梨県</a>	4件
20	<a href="#">長野県</a>	1件
21	<a href="#">岐阜県</a>	2件
22	<a href="#">静岡県</a>	4件
23	<a href="#">愛知県</a>	1件
24	<a href="#">三重県</a>	0件
25	<a href="#">滋賀県</a>	1件

No.	都道府県	掲載件数
26	<a href="#">京都府</a>	3件
27	<a href="#">大阪府</a>	1件
28	<a href="#">兵庫県</a>	1件
29	<a href="#">奈良県</a>	1件
30	<a href="#">和歌山県</a>	1件
31	<a href="#">鳥取県</a>	1件
32	<a href="#">島根県</a>	5件
33	<a href="#">岡山県</a>	1件
34	<a href="#">広島県</a>	2件
35	<a href="#">山口県</a>	1件
36	<a href="#">徳島県</a>	0件
37	<a href="#">香川県</a>	0件
38	<a href="#">愛媛県</a>	0件
39	<a href="#">高知県</a>	1件
40	<a href="#">福岡県</a>	3件
41	<a href="#">佐賀県</a>	1件
42	<a href="#">長崎県</a>	0件
43	<a href="#">熊本県</a>	2件
44	<a href="#">大分県</a>	1件
45	<a href="#">宮崎県</a>	0件
46	<a href="#">鹿児島県</a>	1件
47	<a href="#">沖縄県</a>	0件
48	<a href="#">全国</a>	2件

都道府県別の結果は以下の通り。※詳細は資料編6に掲載のこと。

## (2) 導入に係る助成事業の調査

### ① 目的

介護ロボット等の導入にあたり、各都道府県等において実施している、介護施設や居宅介護事業所等が活用できる助成制度を調査し、その結果を一覧に取り纏め、介護施設や居宅介護事業所等へ提供するとともに、厚生労働省が行う「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム」の相談窓口やリビングラボネットワーク、研究機関等へ情報提供することとした。

また、結果の一覧につきましては、当協会のホームページにも掲載した。

### ② 調査対象

- ・ 都道府県及び政令指定都市における高齢福祉担当の窓口

### ③ 調査内容

介護機器の導入にあたり、介護施設等が活用できる助成制度の内容について、以下の事項について、調査することとした。

- ・ 事業の名称
- ・ 実施団体
- ・ 事業内容
- ・ 対象者
- ・ 範囲または条件
- ・ 公募期間
- ・ 予算規模
- ・ 実績
- ・ 主管課及び実施団体の窓口

④ 調査結果

調査対象に対し5月と11月の計2回の調査を実施し、最終的には全国で67件の事業について収集し、都道府県別に取りまとめた。

令和4年度 介護機器の導入に係る助成制度 一覧

更新日： 令和4年11月

本資料は、都道府県別に1シートに纏めています。

掲載総件数	67件
-------	-----

No.	都道府県	掲載件数
1	<a href="#">北海道</a>	3件
2	<a href="#">青森県</a>	1件
3	<a href="#">岩手県</a>	1件
4	<a href="#">宮城県</a>	2件
5	<a href="#">秋田県</a>	1件
6	<a href="#">山形県</a>	1件
7	<a href="#">福島県</a>	2件
8	<a href="#">茨城県</a>	1件
9	<a href="#">栃木県</a>	1件
10	<a href="#">群馬県</a>	2件
11	<a href="#">埼玉県</a>	2件
12	<a href="#">千葉県</a>	2件
13	<a href="#">東京都</a>	1件
14	<a href="#">神奈川県</a>	8件
15	<a href="#">新潟県</a>	1件
16	<a href="#">富山県</a>	1件
17	<a href="#">石川県</a>	1件
18	<a href="#">福井県</a>	0件
19	<a href="#">山梨県</a>	1件
20	<a href="#">長野県</a>	1件
21	<a href="#">岐阜県</a>	1件
22	<a href="#">静岡県</a>	1件
23	<a href="#">愛知県</a>	1件
24	<a href="#">三重県</a>	1件
25	<a href="#">滋賀県</a>	1件

No.	都道府県	掲載件数
26	<a href="#">京都府</a>	2件
27	<a href="#">大阪府</a>	1件
28	<a href="#">兵庫県</a>	1件
29	<a href="#">奈良県</a>	1件
30	<a href="#">和歌山県</a>	2件
31	<a href="#">鳥取県</a>	1件
32	<a href="#">島根県</a>	1件
33	<a href="#">岡山県</a>	4件
34	<a href="#">広島県</a>	1件
35	<a href="#">山口県</a>	1件
36	<a href="#">徳島県</a>	1件
37	<a href="#">香川県</a>	1件
38	<a href="#">愛媛県</a>	1件
39	<a href="#">高知県</a>	1件
40	<a href="#">福岡県</a>	3件
41	<a href="#">佐賀県</a>	1件
42	<a href="#">長崎県</a>	1件
43	<a href="#">熊本県</a>	1件
44	<a href="#">大分県</a>	1件
45	<a href="#">宮崎県</a>	1件
46	<a href="#">鹿児島県</a>	1件
47	<a href="#">沖縄県</a>	1件

都道府県別の結果は以下の通り。※詳細は資料編6に掲載のこと。

## 9. 介護ロボット導入支援事業・生産性向上の取組の実態調査

### (1) 調査目的

介護ロボットの活用を促進するためには現在の導入実態を把握することが重要である。そこで、都道府県等における介護ロボット導入支援事業等の実施状況について調査を実施した。

### (2) 実施概要

調査対象：47都道府県の介護ロボット導入支援事業所管部署

実施方法：電子メールより調査票送付、電子メールにて回収

調査期間：令和4年11月25日（金）～令和4年12月16日（金）17：00

回収件数：47件

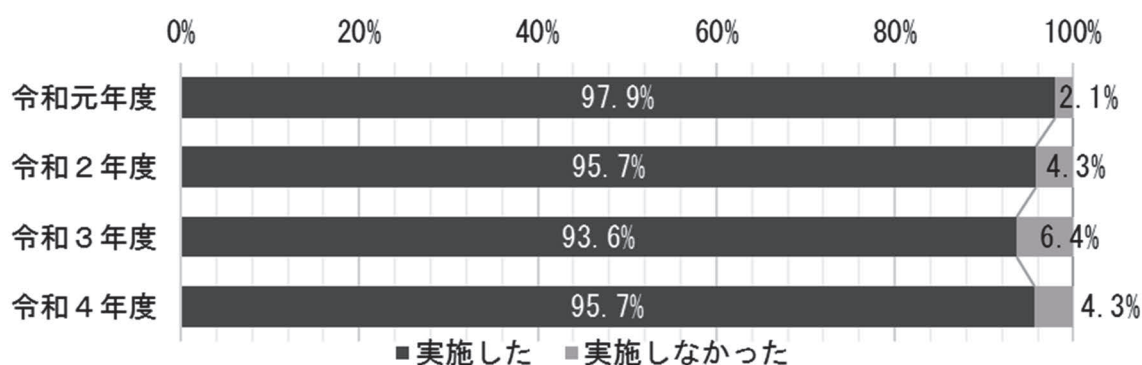
### (3) 調査結果

#### ①地域医療介護総合確保基金による令和4年度「介護ロボット導入支援事業」の実施概況

##### a) 介護ロボット導入支援事業の実施状況

令和4年度は45件で地域医療介護総合確保基金による介護ロボット導入支援事業が実施された。「実施しなかった」という回答は2件あり、その理由はそれぞれ地域医療介護総合確保基金以外の財源で介護ロボットの導入支援事業を実施した、予算が限られているため実施しなかったというものであった。

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
実施した	46	97.9%	45	95.7%	44	93.6%	45	95.7%
実施しなかった	1	2.1%	2	4.3%	3	6.4%	2	4.3%
合計	47	100%	47	100%	47	100%	47	100%



#### 令和4年度に「実施しなかった」理由

- ・予算が限られているため。[福井県]
- ・令和3年度に交付された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用（繰越）して事業を実施しているため。[長崎県]

##### b) 来年度の実施予定

来年度の実施予定については、46件が「来年度実施を予定している」と回答した。

令和4年度に介護ロボット導入支援事業を実施した45件を対象に、来年度の実施予



定と実施内容を確認したところ、42件は「今年と同様に実施」、3件は「内容をより充実させて実施」と回答した。

【来年度の実施予定】

割合	回答数	割合
来年度実施を予定している	46	97.9%
実施の予定はない	1	2.1%
合計	47	100%

【来年度、どのように実施するか（今年度事業を実施した都道府県のみ回答）】

	回答数	割合
今年と同様に実施	42	93.3%
内容をより充実させて実施	3	6.7%
テーマ、分野を絞って実施	0	0.0%
実施しない	0	0.0%
合計	45	100%

「内容をより充実させて実施」と回答した場合の具体的な内容

- ・ ロボットの活用事例等を積極的に他施設へも周知していきたい。
- ・ 見守りセンサー導入に対する補助基準額の引き上げ等。
- ・ 予算を増額させて実施予定。

c) 公募期間

令和4年度介護ロボット導入支援事業を実施した44件の公募期間は以下のとおり。

	公募開始	公募終了	追加募集	
			公募開始（予定）	公募終了（予定）
北海道	7月19日	8月19日	10月12日	10月28日
青森県	9月15日	10月14日	-	-
岩手県	8月26日	9月30日	-	-
宮城県	8月18日	9月20日	-	-
秋田県	6月30日	8月19日	-	-
山形県	7月28日	8月29日	-	-
福島県	10月19日	11月9日	12月1日	12月22日
茨城県	4月13日	5月20日	-	-
栃木県	4月1日	3月31日	-	-
群馬県	9月15日	10月3日	-	-
埼玉県	7月7日	8月10日	-	-
千葉県	6月17日	7月18日	-	-
東京都	8月31日	9月30日	-	-
神奈川県	6月13日	7月1日	-	-
新潟県	6月17日	7月19日	10月3日	12月23日
富山県	7月15日	9月9日	-	-
石川県	6月30日	8月19日	11月1日	12月2日
福井県	-	-	-	-
山梨県	8月1日	8月31日	-	-
長野県	7月8日	8月19日	-	-
岐阜県	6月20日	7月25日	9月16日	11月18日
静岡県	8月24日	9月15日	-	-
愛知県	8月12日	9月9日	-	-
三重県	7月1日	7月29日	-	-
滋賀県	7月27日	8月31日	-	-
京都府	9月27日	11月4日	-	-
大阪府	7月15日	8月5日	-	-
兵庫県	9月7日	10月4日	-	-
奈良県	8月17日	9月7日	-	-
和歌山県	8月4日	9月9日	9月30日	10月28日
鳥取県	4月8日	6月3日	-	-
島根県	10月12日	11月11日	-	-
岡山県	8月9日	9月16日	10月11日	10月28日
広島県	7月4日	7月29日	-	-
山口県	5月18日	7月29日	-	-
徳島県	7月29日	8月29日	-	-
香川県	6月24日	7月25日	-	-
愛媛県	7月4日	7月29日	-	-
高知県	8月29日	9月30日	11月1日	11月30日
福岡県	7月12日	8月31日	-	-
佐賀県	7月15日	8月19日	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	7月28日	8月22日	-	-
大分県	8月1日	9月30日	-	-
宮崎県	6月8日	7月6日	9月1日	9月27日
鹿児島県	8月18日	9月16日	-	-
沖縄県	9月12日	10月5日	-	-

d) 補助対象の上限額や補助率などの設定内容とその理由

国の要綱において、「一定の要件を満たす事業所」と「それ以外の事業所」で補助内

容が異なるため、各ケースにおいて補助対象の上限額や補助率などの設定内容を把握した。なお、設定理由は両ケースを合わせた全体についての回答である。

各ケースの補助対象の上限額や補助率などの設定内容は以下のとおり。

【一定の要件を満たす事業所】

	上限額			補助率		
	国の要綱のとおり	それ以外	対象無	3/4	それ以外	対象無
移乗支援（装着型・非装着型）入浴支援	30	8	7	33	5	7
上記以外の機器	38	1	6	34	5	6
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備	21	18	6	34	5	6

	あり
補助上限台数の制限	15
上記以外の独自の基準	13

【それ以外の事業所】

	上限額			補助率		
	国の要綱のとおり	それ以外	対象無	1/2	それ以外	対象無
移乗支援（装着型・非装着型）入浴支援	33	8	4	39	2	4
上記以外の機器	41	0	4	40	1	4
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備	22	19	4	40	1	4

	あり
補助上限台数の制限	16
上記以外の独自の基準	14

「補助上限台数に制限を設けている場合」の具体的な内容（主な回答）

- ・施設・居住系サービスは、利用定員を10で除した数（小数点切り上げ）、在宅系サービスは、利用定員を20で除した数（小数点切り上げ）。
- ・前年度までの補助台数を含め、利用者定員数の2割（小数点以下切り上げ）。
- ・上限台数は、利用定員とし、各年度の1事業所当たりの導入台数は、事業所の利用定員を5で除した数（小数点以下を切り捨てる。）を限度とする。
- ・定員の2割（小数点以下は切り捨てとし、未満の場合は1とする）。定員が明確でない事業所においては利用者の2割。利用者においては、計画書を提出した前3月の平均値を用いる。この場合、前3月の平均値は、暦年ごとの実利用者数を合算し、3で除して得た数とする。

「独自の基準を設けている場合」の具体的な内容（主な回答）

- ・補助率1/2に限定している。
- ・1事業所当たりの上限額を300万円に設定している。通信環境整備についてはこの限りでない。
- ・一定の要件を満たす事業所に対する補助を設定していない。

- ・通信環境整備は、見守り機器1台につき30万円の範囲内で補助。例：見守り機器5万円×10台、通信環境250万円、計300万円。
- ・見守りセンサー付きベッド：上限額10万円（補助率1/2）。
- ・1法人につき200万円を補助上限額とする。
- ・1事業所あたりの介護ロボットの補助上限額：500万円。
- ・同一法人内で、本事業で過去に同一種のロボットの助成を受けた場合は補助対象外とする。
- ・補助対象事業所は過去に助成を受けたことがない法人の介護サービス事業所であること。1法人あたりの補助上限額100万円。
- ・移乗支援のうち、非装着型の介護ロボットのみを補助対象としている。
- ・介護ロボット導入に関する動画研修の受講を申請要件とした

【上記の上限額や補助率などを設定した理由（複数回答可）】

理由（複数回答）	回答数
国の基準を基に実施しているため	27
予算が限られているため	24
他の補助事業と同じ基準にしている	1
その他	5

その他

- ・より多くの事業所に補助できるよう、上限額を低くしている。
- ・更に一部他の財源により上乘せしている。
- ・補助率を県独自で4/5としているため、国の実施要綱の「一定の条件を満たす事業所」のみを補助対象としている。
- ・本県では、ノーリフティングケア（「持ち上げない・抱え上げない・引きづらない」職員と利用者双方に優しいケア）を推進している観点からパワースーツ等の装着型は対象外としている。
- ・機器導入の基礎的知識の習得を目指す研修を事業申請前に受講することで事業者の目的意識向上を目指す。

【参考】令和4年度国の実施要綱

- ・移乗支援（装着型・非装着型）、入浴支援は、1機器あたり上限100万円、その他は上限30万円。
  - ・見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備：1事業所あたり上限750万円
  - ・補助上限台数：必要台数（制限の撤廃）。
  - ・補助率：一定の要件※を満たす事業所は、3/4を下限に都道府県の裁量により設定。  
それ以外の事業所は1/2を下限に都道府県の裁量により設定。
- ※導入計画書において目標とする人員配置を明確にした上で、見守りセンサーやインカム、介護記録ソフト等の複数の機器を導入し、職員の負担軽減等を図りつつ、人員体制を効率化させる場合。

e) 導入支援事業の対象とする分野

導入支援事業の対象について、「支援分野を限定している」との回答はなかった。

	回答数	割合
支援対象商品を限定していない	45	100.0%
支援対象商品を限定している	0	0.0%
合計	45	100.0%

f) 提出された介護ロボット導入計画と採択状況

令和4年度に提出された介護ロボット導入計画と採択状況については、次頁のとおり回答を得た。

【令和4年度に提出された計画件数及びそのうち11月末までに交付決定した計画件数】

	11月末までに提出された計画件数					左記のうち導入支援事業の対象として 交付決定した計画件数				
	施設・居宅系		在宅系		合計	施設・居宅系		在宅系		合計
	一定要件 を満たす	それ以外	一定要件 を満たす	それ以外		一定要件 を満たす	それ以外	一定要件 を満たす	それ以外	
北海道	95	99	27	38	259	47	0	0	0	47
青森県	17	0	3	0	20	17	0	3	0	20
岩手県	12	11	0	0	23	0	0	0	0	0
宮城県	0	39	0	18	57	0	39	0	18	57
秋田県	22	6	12	5	45	22	6	12	5	45
山形県	0	32	0	13	45	0	0	0	0	0
福島県	22	32	3	5	62	22	32	3	5	62
茨城県	0	49	0	8	57	0	40	0	4	44
栃木県	0	14	0	2	16	0	14	0	2	16
群馬県	32	76	10	25	143	0	0	0	0	0
埼玉県	35	0	11	0	46	35	0	11	0	46
千葉県	0	106	0	26	132	0	64	0	17	81
東京都	0	197	0	26	223	0	0	0	0	0
神奈川県	146	0	34	0	180	87	0	12	0	99
新潟県	0	30	0	16	46	0	29	0	13	42
富山県	30	16	4	3	53	28	15	4	3	50
石川県	19	4	10	0	33	19	4	10	0	33
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	4	1	2	8	0	0	0	0	0
長野県	0	5	0	1	6	0	5	0	1	6
岐阜県	47	27	26	15	115	47	27	26	15	115
静岡県	0	53	0	27	80	0	37	0	21	58
愛知県	149	48	13	26	236	0	0	0	0	0
三重県	65	0	13	0	78	52	0	10	0	62
滋賀県	25	19	8	6	58	11	3	5	2	21
京都府	46	25	7	7	85	0	0	0	0	0
大阪府	328	59	11	19	417	78	19	1	1	99
兵庫県	145	22	32	2	201	0	0	0	0	0
奈良県	36	14	3	0	53	0	0	0	0	0
和歌山県	27	20	10	13	70	22	18	9	12	61
鳥取県	34	12	1	0	47	34	12	1	0	47
島根県	62	24	4	3	93	0	0	0	0	0
岡山県	5	8	1	0	14	0	0	0	0	0
広島県	0	36	0	14	50	0	36	0	14	50
山口県	0	26	0	12	38	0	26	0	12	38
徳島県	35	0	10	0	45	0	0	0	0	0
香川県	4	1	1	1	7	4	0	0	1	5
愛媛県	11	24	4	9	48	11	24	4	9	48
高知県	2	2	0	1	5	2	2	0	1	5
福岡県	148	0	45	0	193	0	0	0	0	0
佐賀県	24	2	9	0	35	23	2	9	0	34
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	36	59	12	20	127	29	35	11	18	93
大分県	20	28	9	5	62	7	9	4	2	22
宮崎県	0	61	0	13	74	0	61	0	13	74
鹿児島県	49	18	5	4	76	6	2	2	1	11
沖縄県	9	0	2	0	11	0	0	0	0	0
合計	1,738	1,308	341	385	3,772	603	561	137	190	1,491

※福井県・長崎県は、今年度事業を実施していないため回答無し。

※一定の要件を定めていない宮城県、山形県、千葉県、東京都、静岡県、宮崎県はそれ以外にまとめて集計した。

【採択率（導入支援事業の対象として交付決定した計画件数÷提出された計画件数）】

	採択率 (導入支援事業の対象として交付決定した計画件数÷提出された計画件数)				合計
	施設・居宅系		在宅系		
	一定要件を満たす	それ以外	一定要件を満たす	それ以外	
北海道	49%	0%	0%	0%	18%
青森県	100%	-	100%	-	100%
岩手県	0%	0%	-	-	0%
宮城県	-	100%	-	100%	100%
秋田県	100%	100%	100%	100%	100%
山形県	-	0%	-	0%	0%
福島県	100%	100%	100%	100%	100%
茨城県	-	82%	-	50%	77%
栃木県	-	100%	-	100%	100%
群馬県	0%	0%	0%	0%	0%
埼玉県	100%	-	100%	-	100%
千葉県	-	60%	-	65%	61%
東京都	-	0%	-	0%	0%
神奈川県	60%	-	35%	-	55%
新潟県	-	97%	-	81%	91%
富山県	93%	94%	100%	100%	94%
石川県	100%	100%	100%	-	100%
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	0%	0%	0%	0%	0%
長野県	-	100%	-	100%	100%
岐阜県	100%	100%	100%	100%	100%
静岡県	-	70%	-	78%	73%
愛知県	0%	0%	0%	0%	0%
三重県	80%	-	77%	-	79%
滋賀県	44%	16%	63%	33%	36%
京都府	0%	0%	0%	0%	0%
大阪府	24%	32%	9%	5%	24%
兵庫県	0%	0%	0%	0%	0%
奈良県	0%	0%	0%	-	0%
和歌山県	81%	90%	90%	92%	87%
鳥取県	100%	100%	100%	-	100%
島根県	0%	0%	0%	0%	0%
岡山県	0%	0%	0%	-	0%
広島県	-	100%	-	100%	100%
山口県	-	100%	-	100%	100%
徳島県	0%	-	0%	-	0%
香川県	100%	0%	0%	100%	71%
愛媛県	100%	100%	100%	100%	100%
高知県	100%	100%	-	100%	100%
福岡県	0%	-	0%	-	0%
佐賀県	96%	100%	100%	-	97%
長崎県	-	-	-	-	-
熊本県	81%	59%	92%	90%	73%
大分県	35%	32%	44%	40%	35%
宮崎県	-	100%	-	100%	100%
鹿児島県	12%	11%	40%	25%	14%
沖縄県	0%	-	0%	-	0%
合計	35%	43%	40%	49%	40%

g) 応募状況及び対応状況

令和4年度の応募状況について、22件が「当初の予算額を大きく超える応募があった」と回答した。

	回答数	割合
予算額に満たない応募があった	12	26.7%
当初の予算内で対応できる範囲で採択した	9	75.0%
予算を増額して採択した	0	0.0%
その他	2	16.7%
回答無し	1	8.3%
当初の予算額とほぼ同額の応募があった	11	24.4%
当初の予算内で対応できる範囲で採択した	9	81.8%
予算を増額して採択した	0	0.0%
その他	0	0.0%
回答無し	2	18.2%
当初の予算額を大きく超える応募があった	22	48.9%
当初の予算内で対応できる範囲で採択した	18	81.8%
予算を増額して採択した	1	4.5%
その他	3	13.6%
合計	45	100.0%

令和3年度の執行済み計画件数全体の実績と比較して令和4年度の交付決定済計画件数は、「増えた」と回答したのは14件であった。

「増えた」理由については、予算の増額、補助メニューの追加、人材確保に苦慮している事業者が多く、職員の負担軽減のために導入を希望する事業者が増えたなどであった。

「減った」理由については、1事業所あたりの単価が上がったこと、事業を重ねてきたことである程度普及が進んだこと、社会情勢などからメーカーで製品確保できなかったことなどの回答があった。

【前年度との計画件数の比較】

	回答数	割合
変わらない	6	15.0%
増えた	14	35.0%
減った	20	50.0%
合計	40	100.0%

「増えた」(主な理由)

- ・ 一定の要件を満たす事業所の補助率が高くなっていることから、申請希望が増えたため。
- ・ 予算額を令和3年度より増額しているため。
- ・ 応募のあった事業所について、優先順位を付けて、予算の範囲内で採択していった結果、結果的に昨年度より、多くの事業所を採択できた。
- ・ 通信環境整備等の補助メニューを追加したため。
- ・ 令和3年度と4年度で同予算額であったが、通信環境整備の件数が減ったことにより1事業所あたりの平均補助額が下がったため、予算内で交付決定できる事業所が増えた。



- ・ ニーズ調査時（予算要求時）より、少額申請が多く、予算に余剰が生じたため、追加募集を行ったため。
- ・ 令和3年度は、L I F Eに対応するためI C T導入支援事業への申請を優先する事業所が多かったが、令和4年度は、コロナ禍が続く中、介護職員の確保に苦慮する事業所が多く、介護職員の負担軽減を図るために介護ロボットの導入を希望する事業所が増えたから。
- ・ 広く介護ロボットを普及させるため1法人で1事業所採択する方針は昨年度と同様であり、令和3年度と比較すると、採択事業所数は増加している。

#### 「減った」（主な理由）

- ・ 今年度から補助率3／4を導入したことで、1件単価が上がったため、交付決定した計画数は減少した（予算額は昨年度と同額）。
- ・ メーカー側で製品の確保ができないこともあると聞いており、それも1つの要因であると考えられる。
- ・ 予算内での執行のため、申請のあったうち過去に補助実績のない施設等へ補助したところ、補助施設数が63施設から46施設へ減少した。しかし、補助台数の合計は195台から253台に増加した。
- ・ 補助台数の制限や過去に補助実績がある事業所は対象外しているため。
- ・ 当補助金を3年間実施していく中で一定の介護事業所に交付できたことが理由と考えられる。
- ・ 1事業者あたりの申請額が増加したため。
- ・ 補助金4年目となり、見守り機器導入が進んでいるため。
- ・ 令和3年度は予算額を大きく超える応募があったため、令和4年度は申請段階で募集要件を定め、応募件数が減ったため。
- ・ 11月末時点での採択件数は減っているが、11月末まで2次募集を行っていたため、12月末時点での採択件数は、施設・居住系：15件、在宅系：6件、の計21件となる予定であり、前年度実績から増えるとともに当初の予算額を大きく超えて採択を行う予定である。
- ・ 前年度より申請件数自体が減少したため。
- ・ 予算額は令和3年度並であるが、一定の要件に該当する事業所の増により、1事業所あたりの補助額が増加したため。
- ・ 予算額の減。
- ・ 交付決定手続き中のため。

#### h) 応募された計画の中で、認められない計画

応募された計画の中で、認められない計画について、「介護ロボットの技術的3要素を満たしていない」と回答したのは25件であった。その他の自由記述には、支援分野以外の機器であったことや、予算を超える申請があったため、過去に補助済みの施設からの申請は受理しなかったなどの理由があった。

	回答数	割合
介護ロボットの技術的3要件(センサー系、知能・制御系、駆動系)を満たしていない	25	51.0%
認められなかった計画はない	13	26.5%
その他	11	22.4%
合計	49	100%

#### その他

- ・応募事業所が有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等の介護保険法以外に基づく施設であること、かつ、特定施設の指定を受けていなかったため。
- ・補助の目的要件（移乗、移動、排せつ、入浴、見守り、コミュニケーション、介護業務支援）に該当しない機器だった。
- ・開業前の事業所からの申請。
- ・過去に補助実績のある事業所であったため。
- ・現在審査中。
- ・補助対象者の要件を満たしていない。
- ・過去に同様の補助金活用実績があるため。
- ・補助対象外の介護サービスからの申請（例：サ高住）。
- ・独自の基準を満たしていないため。
- ・補助対象外事業所における申請であったため。
- ・過去に助成をした法人の介護サービス事業所から申請があったため。
- ・ナースコールの全館入替えに係る経費については、県の判断により、介護ロボット等との連動部分のみを認めている。

i) 交付決定補助額

交付決定補助額（令和元年～令和3年度は実績、令和4年度は11月時点の交付決定補助額）は以下のとおり。

	令和元年度（実績）	令和2年度（実績）	令和3年度（実績）	令和4年度（11月末時点）
北海道	22,637,000円	238,982,000円	285,256,000円	169,008,000円
青森県	1,854,000円	43,549,000円	42,088,000円	70,200,000円
岩手県	3,606,000円	279,070,000円	73,611,000円	0円
宮城県	3,927,000円	42,519,000円	162,964,000円	137,017,000円
秋田県	5,209,000円	8,330,000円	59,225,000円	59,970,000円
山形県	—	32,837,000円	21,997,000円	0円
福島県	9,624,000円	36,239,000円	69,616,000円	119,504,000円
茨城県	13,543,000円	18,405,000円	44,018,000円	50,721,000円
栃木県	14,925,000円	20,999,000円	16,524,000円	17,345,000円
群馬県	17,484,000円	24,500,000円	24,813,000円	0円
埼玉県	15,064,000円	41,541,000円	40,249,000円	41,629,000円
千葉県	54,514,000円	57,639,000円	49,864,000円	44,945,000円
東京都（介護保険課）	34,003,000円	221,452,000円	287,824,000円	0円
東京都（施設支援課）	—	—	446,934,000円	—
神奈川県	59,744,000円	161,422,000円	359,602,000円	369,897,000円
新潟県	40,041,000円	56,156,000円	34,716,000円	18,432,000円
富山県	3,974,000円	—	—	39,978,000円
石川県	4,732,000円	20,850,000円	27,525,000円	38,388,000円
福井県	11,706,000円	36,438,000円	10,430,000円	—
山梨県	2,932,000円	13,546,000円	5,911,000円	0円
長野県	3,483,000円	10,856,000円	2,637,000円	6,823,000円
岐阜県	9,800,000円	215,644,000円	96,765,000円	134,274,000円
静岡県	38,128,000円	84,339,000円	112,316,000円	56,840,000円
愛知県	35,353,000円	199,600,000円	282,704,000円	0円
三重県	10,930,000円	67,317,000円	104,700,000円	320,457,000円
滋賀県	2,961,000円	50,492,000円	63,328,000円	52,742,000円
京都府	10,431,000円	30,208,000円	0円	0円
大阪府	11,470,000円	46,128,000円	174,872,000円	243,331,000円
兵庫県	44,122,000円	162,767,000円	742,931,000円	0円
奈良県	9,494,000円	14,119,000円	4,512,000円	0円
和歌山県	37,323,000円	41,744,000円	114,462,000円	93,303,000円
鳥取県	5,619,000円	16,000,000円	32,122,000円	94,190,000円
島根県	12,526,000円	9,266,000円	30,073,000円	0円
岡山県	13,737,000円	7,979,000円	11,908,000円	0円
広島県	24,927,000円	11,427,000円	11,239,000円	15,259,000円
山口県	5,886,000円	6,000,000円	9,890,000円	11,207,000円
徳島県	9,423,000円	21,601,000円	22,852,000円	0円
香川県	7,022,000円	8,328,000円	5,615,000円	4,232,000円
愛媛県	10,466,000円	26,972,000円	35,893,000円	79,202,000円
高知県	445,000円	6,555,000円	5,526,000円	12,132,000円
福岡県	20,209,000円	194,873,000円	263,255,000円	0円
佐賀県	17,526,000円	17,031,000円	39,523,000円	46,654,000円
長崎県	5,417,000円	—	—	—
熊本県	35,288,000円	47,650,000円	54,314,000円	65,472,000円
大分県	13,893,000円	43,738,000円	42,781,000円	57,526,000円
宮崎県	14,643,000円	83,133,000円	90,748,000円	103,981,000円
鹿児島県	13,476,000円	60,858,000円	81,564,000円	5,541,000円
沖縄県	1,667,000円	6,114,000円	5,397,000円	0円
合計	745,184,000円	2,845,213,000円	4,505,094,000円	2,580,200,000円

※東京都の令和3年度については、介護保険課と施設支援課の2部署でそれぞれ独自の補助要件を設け実施したため分けて計上している。

j) 介護ロボットの効果的な活用に関する支援

介護ロボットの効果的な活用について、「介護事業所に対する業務改善支援事業で実施している」が5件、「上記以外で実施している」と回答したのは8件だった。「上記以外で実施した」場合の内容（自由記述）は、セミナーや個別相談会の開催、アドバイザーの派遣などであった。

	回答数	割合
介護事業所に対する業務改善支援事業で実施している	5	11.1%
上記以外で実施している	8	17.8%
実施していない	32	71.1%
合計	45	100.0%

#### 「上記以外で実施している」場合の内容

- ・コンサルタントによる個別支援。
- ・介護ロボットアドバイザーを委嘱し、セミナー等を実施している。
- ・コンサルティング会社と委託契約を結び、介護施設に対して介護ロボットをより効果的に運用できるようにコンサルティング支援を行っている。
- ・事業所の雇用管理等に関して相談支援する業務を委託で実施しており、その中で、介護ロボットを導入した事業所を訪問し、活用状況を確認し、うまく活用できていない事業所には、専門家派遣を行い、活用できるように支援する（ただし、現時点では現状の把握を進めているところで、活用支援までは至っていない）。
- ・介護施設にコンサルタントを派遣して介護業務を再構築し、介護ロボットを駆使することで生産性向上を図る。さらに、成果報告会等を通して、成果を他施設に普及させる。
- ・それぞれの事業所においてどのような機器が必要かを導く導入前セミナーや、導入した機器を有用に活用してもらうための導入後セミナー、既に機器を導入している事業所の活用状況を紹介する公開見学会等。
- ・オンラインセミナーの開催やアドバイザー派遣事業など。
- ・先進事業所による介護ロボット・ICT見学会の実施。
- ・モデル施設2施設に対し、コンサルティング会社を派遣し、課題整理、導入支援を行っている。
- ・福祉・介護就労環境改善推進事業：ノーリフティングケア推進のための機器の活用に関する研修や業務改善アドバイザーの派遣等。介護事業所デジタル化支援事業：ICT等の円滑な導入のためのセミナーや個別相談会の開催。
- ・介護ロボット等の導入に関して助言や提案等を行うアドバイザーを配置した。

#### k) 補助事業を円滑に遂行するために必要とする情報

令和4年度に介護ロボット導入支援事業を実施した45都道府県において、補助事業を円滑に遂行するために必要とする情報として回答が多かったのは介護ロボットの対象範囲（38件）、介護ロボットに関する機器情報（35件）、介護ロボットの活用事例（23件）であった。

	回答数
介護ロボットに関する機器情報	35
介護ロボットの対象範囲	38
介護ロボットの活用事例	23
展示会や研修会の開催情報	15
介護ロボットに関するヒヤリハット情報	6
その他	2

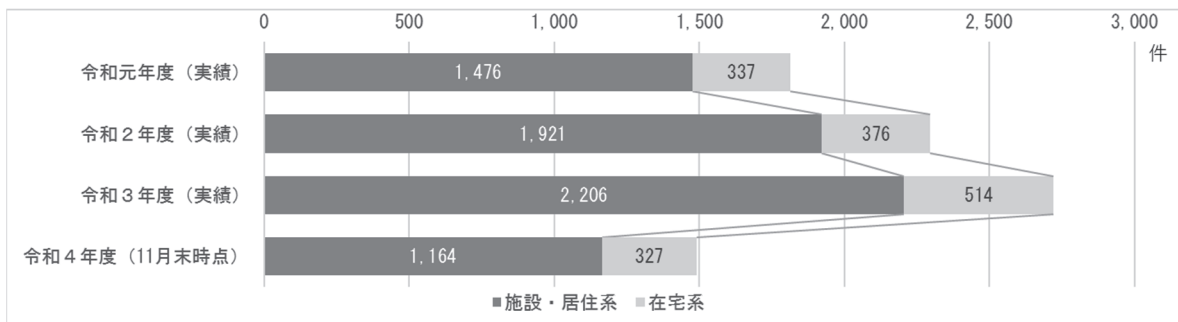
#### その他

- ・機器を導入したが活用できていない状況にならないように、導入から活用までの間で、考えるべきこと等を記入して埋めていくようなワークシートがあったらよいのではないか。
- ・対象機器・対象外機器一覧表の提示。

②地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績

a) 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績（計画件数）（単位：件）

	令和元年度（実績）			令和2年度（実績） （合計）			令和3年度（実績）			令和4年度（11月末時点） （一定の要件を満たす）			令和4年度（11月末時点） （それ以外）			令和4年度（11月末時点） （合計）		
	施設・居住系	在宅系	合計	施設・居住系	在宅系	合計	施設・居住系	在宅系	合計	施設・居住系	在宅系	合計	施設・居住系	在宅系	合計	施設・居住系	在宅系	合計
北海道	60	4	64	0	0	0	114	16	130	47	0	47	0	0	0	47	0	47
青森県	13	0	13	21	0	21	19	8	27	17	3	20	0	0	0	17	3	20
岩手県	8	1	9	69	2	71	31	4	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城県	6	1	7	19	0	19	35	12	47	0	0	0	39	18	57	39	18	57
秋田県	11	1	12	8	5	13	45	41	86	22	12	34	6	5	11	28	17	45
山形県				25	0	25	22	7	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島県	22	0	22	31	2	33	48	10	58	22	3	25	32	5	37	54	8	62
茨城県	41	5	46	35	5	40	30	2	32	0	0	0	40	4	44	40	4	44
栃木県	13	5	18	17	8	25	15	4	19	0	0	0	14	2	16	14	2	16
群馬県	52	16	68	49	8	57	58	8	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉県	45	12	57	92	25	117	50	13	63	35	11	46	0	0	0	35	11	46
千葉県	118	12	130	62	11	73	63	19	82	0	0	0	64	17	81	64	17	81
東京都 介護保険課	34	13	47	57	14	71	139	18	157	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京都 施設支援課	-	-	-	-	-	-	79	0	79	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	58		58	79	8	87	77	0	77	87	12	99	0	0	0	87	12	99
新潟県	54	16	70	132	46	178	60	25	85	0	0	0	29	13	42	29	13	42
富山県	12	2	14	-	-	-	-	-	-	28	4	32	15	3	18	43	7	50
石川県	6	0	6	9	0	9	19	8	27	19	10	29	4	0	4	23	10	33
福井県	20	10	30	34	17	51	20	17	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	8		8	18	3	21	3	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野県	5		5	13	1	14	5	1	6	0	0	0	5	1	6	5	1	6
岐阜県	27	2	29	82	9	91	60	34	94	47	26	73	27	15	42	74	41	115
静岡県	64	18	82	97	46	143	110	41	151	0	0	0	37	21	58	37	21	58
愛知県	65	23	88	102	35	137	112	15	127	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三重県	23	9	32	31	2	33	29	3	32	52	10	62	0	0	0	52	10	62
滋賀県	8		8	51	2	53	19	2	21	11	5	16	3	2	5	14	7	21
京都府	26	6	32	21	6	27	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪府	57	2	59	54	9	63	110	12	122	78	1	79	19	1	20	97	2	99
兵庫県	71	19	90	90	10	100	179	23	202	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良県	18	2	20	17	1	18	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山県	54	16	70	34	14	48	56	26	82	22	9	31	18	12	30	40	21	61
鳥取県	8	0	8	21	3	24	28	1	29	34	1	35	12	0	12	46	1	47
島根県	17	8	25	13	5	18	32	11	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山県	14		14	12	0	12	10	2	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島県	80	37	117	44	14	58	29	13	42	0	0	0	36	14	50	36	14	50
山口県	29	6	35	16	3	19	24	7	31	0	0	0	26	12	38	26	12	38
徳島県	25	9	34	31	5	36	24	9	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川県	23	2	25	27	7	34	9	4	13	4	0	4	0	1	1	4	1	5
愛媛県	18	8	26	24	12	36	29	6	35	11	4	15	24	9	33	35	13	48
高知県	2	2	4	5	2	7	4	5	9	2	0	2	2	1	3	4	1	5
福岡県	46	17	63	100	0	100	125	25	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀県	31	15	46	26	9	35	31	9	40	23	9	32	2	0	2	25	9	34
長崎県	19	4	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	67	12	79	69	10	79	109	19	128	29	11	40	35	18	53	64	29	93
大分県	21	7	28	36	5	41	26	9	35	7	4	11	9	2	11	16	6	22
宮崎県	34	6	40	59	3	62	48	1	49	0	0	0	61	13	74	61	13	74
鹿児島県	40	3	43	83	6	89	60	20	80	6	2	8	2	1	3	8	3	11
沖縄県	3	6	9	6	3	9	3	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,476	337	1,813	1,921	376	2,297	2,206	514	2,720	603	137	740	561	190	751	1,164	327	1,491



※令和4年度は11月末時点に交付決定した計画件数を回答している。なお、福井県・長崎

県は事業を実施していないため、回答無し。

※東京都は令和3年度に介護保険課と施設支援課の2部署でそれぞれ異なる補助要件で事業を実施したため分けて計上している。

b) 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績（導入台数）（単位：台）

	令和元年度（実績）							令和2年度（実績） （合計）											
	移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り	コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	合計	移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り	コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	Wi-Fi工事	インカム	介護記録とのシステム連動	合計
北海道	9		4	166	3	2		184											
青森県	2		4	15				21	5		5	151	2			5			168
岩手県			2	24		1		27	19	1		365	9	2	18	20		434	
宮城県				32				32		2		101		2	6			111	
秋田県	16			9	1			26	1		3	37		1			2	44	
山形県									11			186		4	1	45		247	
福島県				111	1			112				175				16		191	
茨城県	30			54	5			89	1			131	3		7			142	
栃木県				71				71	4			116			2			122	
群馬県	20			162				182	9		3	138	2	2				154	
埼玉県	38			117	1			156	12			239	1	9	1			262	
千葉県	5		1	558	2	3		569	25	2		888	4	44	22	1	1	987	
東京都 介護保険課	61		3	144	35			243	80		12	654	7	25				778	
東京都 施設支援課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	8			404	2			414	41		1	1,270	4	10	29			1,355	
新潟県	22			214				236	18			186	2	6	2	54	2	270	
富山県	6			37	1			44											
石川県	2			30	3			35		1		60						61	
福井県	12			76			3	91	19		2	265	2		6			294	
山梨県	4			14				18	9			126						135	
長野県				29		5		34	4			87	2					93	
岐阜県	6			109	1			116	25	30	64	1,315			68			1,502	
静岡県				383				383	13			445		32				490	
愛知県	24			303	4			331	40		22	1,604	2	2	2	44		1,716	
三重県	20		1	76	1	1		99	5			361		3				369	
滋賀県	13		1	6				20	12		1	529				1		543	
京都府	42			97				139	4			342	2		6	3		357	
大阪府	28		1	51	1	3		84	11			19	1	8	22	2		63	
兵庫県	59	3	4	176	1	8		251	65		2	806	31	3	2		56	965	
奈良県	24			49				73	13			59						72	
和歌山県	17		1	258		2		278	14		2	269	2	10	15			312	
鳥取県	3			35				38		1		70			3	11		85	
島根県	36			56	1			93	6			46	1		2			55	
岡山県				106				106	46			10		8				64	
広島県	52		1	165	7	5		230	57	2		55	7	3			9	133	
山口県	6			41		1		48	13			31	5					49	
徳島県	18			63	5			86	11	2		104	1		6			124	
香川県	16		4	31	4			55	10	12		50	6		1	2		81	
愛媛県	23	1		45			5	74	3			221	1	1	15	9	1	251	
高知県				12				12				120			1	1		2	124
福岡県	5	1		164	1	3		174	63		5	638	2	20	38			766	
佐賀県	34			86	2			122	7		1	102						110	
長崎県				75				75											
熊本県	19	1		250	3	1		274	28		8	211	1	15	7			270	
大分県	19			47	2			68	13			311		1			9	334	
宮崎県	10	2		121	7	5		145	7			815	2	3	25	145		997	
鹿児島県	2	2	4	81	5			94	18			339	1	5	3	19	4	389	
沖縄県	2			16				18	3			55	1		2			61	
合計	713	10	31	5,169	99	40	8	6,070	745	53	131	14,102	104	219	28	417	328	3	16,130



	令和3年度(実績) (施設・居住系)										令和3年度(実績) (在宅系)											
	移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り	コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	Wi-Fi工事	インカム	介護記録とのシステム連動	合計	移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り	コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	Wi-Fi工事	インカム	介護記録とのシステム連動	合計
北海道	23		1	1,108		10		77	26		1,245	2			56	2	2		4			66
青森県	3	10		193			1	5	3		215		1		16			1				18
岩手県	8		3	605	3	2		55	40		716	3			21							24
宮城県	1	4	2	706				10	61	227	1,011	2			40				1		54	97
秋田県	17	4	3	147	4	4		19		14	212	4			39				11		25	79
山形県	3			290		3			19		315				32		2				1	35
福島県	7			505	1	3		10	3		529	1			36	1	4		2	2		46
茨城県	11			439		1	1	14			466				10		1					11
栃木県				99		1		10			110				7				4			11
群馬県	5		3	70		2		14	2		96				10				2			12
埼玉県	15		6	145	2	8					176	8			11							19
千葉県	16			312	2	22		9			361				25	1	7		2	1		36
東京都 介護保険課	161		16	2,230	7	27					2,441	8	1		35	1	8					53
東京都 施設支援課				1,768				62	331	21	2,182											0
神奈川県	13			2,685	2	5		26			2,731											0
新潟県	13		1	108	1	2		18			143	1			31	4			11			47
富山県											0											0
石川県	9		1	94	1						105	3			7							10
福井県	9			59			3				71	2	1		15	1	1					20
山梨県				49				1			50	1			7							8
長野県				19							19				6							6
岐阜県	13		7	435	8	4	1	8	59		535	9		5	58	4	3		5	34		118
静岡県	21	3		457		17		26			524	4		6	64	4	10		2			90
愛知県	22		3	1,529	2	10		28	9	3	1,606	8			96	2	3		2			111
三重県	31		3	515				11	20		580				6	1			1			8
滋賀県	16			346		1					363	2			20							22
京都府											0											0
大阪府	37		8	818	2	10		31	22	2	930	2			39		2		1	2		46
兵庫県	71	29	3	3,256	1	8	15	69	114	24	3,590	9	1	20	122	2			1			155
奈良県				51				1			52											0
和歌山県	5			675	2	7		13	2		704		1	10	113		4		2	2		132
鳥取県	3			48				1	90	1	143	1										1
島根県	12			113				4			129	1		2	12				2			17
岡山県	14			24	2			13	2	8	63	2					1					3
広島県	49			72				1			122	8			10							18
山口県	15			76		5					96				7							7
徳島県	3			114	1			6	5		129	18			48	1			1			68
香川県		3		16		1		2	1		23	1			34				1			36
愛媛県	3			224			2	8	4	6	247	1			11		1	1	1		1	16
高知県				13	4						17		5	1	22							29
福岡県	64	2	17	922	2	22		35	16	5	1,085	30	1	6	39	5	2		2			85
佐賀県	14			140				12			166	13			4				1			18
長崎県											0											0
熊本県	21			290		16	1	17			345	3			7		7		4			21
大分県	11			263					5		279	2		1	56				1	1	1	62
宮崎県	18		1	757				12	9	19	816				5							5
鹿児島県	29	1	7	262	3	1		18	4	5	330	10			28	2	4		5	2	1	52
沖縄県	5			6				1			12	1			2							3
合計	791	56	85	23,053	50	192	24	647	847	335	26,080	160	11	51	1,207	31	62	2	69	45	83	1,721

	令和3年度（実績） （合計）										
	移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り	コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	W i - F i 工事	インカム	介護記録とのシステム連動	合計
北海道	25		1	1,164	2	12		81	26		1,311
青森県	3	11		209			2	5	3		233
岩手県	11		3	626	3	2		55	40		740
宮城県	3	4	2	746				11	61	281	1,108
秋田県	21	4	3	186	4	4		30		39	291
山形県	3			322		5			20		350
福島県	8			541	2	7		12	5		575
茨城県	11			449		2	1	14			477
栃木県				106		1		14			121
群馬県	5		3	80		2		16	2		108
埼玉県	23		6	156	2	8					195
千葉県	16			337	3	29		11	1		397
東京都 介護保険課	169	1	16	2,265	8	35					2,494
東京都 施設支援課				1,768				62	331	21	2,182
神奈川県	13			2,685	2	5		26			2,731
新潟県	14		1	139	5	2		29			190
富山県											0
石川県	12		1	101	1						115
福井県	11	1		74	1	1	3				91
山梨県	1			56				1			58
長野県				25							25
岐阜県	22		12	493	12	7	1	13	93		653
静岡県	25	3	6	521	4	27		28			614
愛知県	30		3	1,625	4	13		30	9	3	1,717
三重県	31		3	521	1			12	20		588
滋賀県	18			366		1					385
京都府											0
大阪府	39		8	857	2	12		32	24	2	976
兵庫県	80	30	23	3,378	3	8	15	70	114	24	3,745
奈良県				51				1			52
和歌山県	5	1	10	788	2	11		15	4		836
鳥取県	4			48				1	90	1	144
島根県	13		2	125				6			146
岡山県	16			24	2	1		13	2	8	66
広島県	57			82				1			140
山口県	15			83		5					103
徳島県	21			162	2			7	5		197
香川県	1	3		50		1		3	1		59
愛媛県	4			235		1	3	9	4	7	263
高知県		5	1	35	4					1	46
福岡県	94	3	23	961	7	24		37	16	5	1,170
佐賀県	27			144				13			184
長崎県											0
熊本県	24			297		23	1	21			366
大分県	13		1	319				1	6	1	341
宮崎県	18		1	762				12	9	19	821
鹿児島県	39	1	7	290	5	5		23	6	6	382
沖縄県	6			8				1			15
合計	951	67	136	24,260	81	254	26	716	892	418	27,801

	令和4年度（11月末時点） （施設・居住系）										令和4年度（11月末時点） （在宅系）												
	移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り	コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	Wii-Fit工事	インカム	介護記録とのシステム連動	合計	移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り	コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	Wii-Fit工事	インカム	介護記録とのシステム連動	合計	
北海道	6			793				19	5	1	824												0
青森県	12			344	7		1	5	8		377				1	3							4
岩手県											0												0
宮城県	5			523			1	3	74	122	728	3	6	30							5	41	85
秋田県				93		7		7		8	115			45					2			12	59
山形県											0												0
福島県	5		1	366	1	7		12	5	1	398			12	1	2			2	2			19
茨城県	3		2	652		2		12			671	1			2	1							4
栃木県	1			61		1		8	19	13	103			5									5
群馬県											0												0
埼玉県	3			227		3					233			18	1	1							20
千葉県				405	1	6		10		5	427		6	19		8			3				36
東京都 介護保険課											0												0
東京都 施設支援課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	12			2,238	5	6		47			2,308	6		18		1			3				28
新潟県	1			22	1	5		20	1		50	4		1	7	1				5			18
富山県	23			349				10	1		383			57		1				3			61
石川県	10		4	125	3	3		1			146			11					1				12
福井県											0												0
山梨県											0												0
長野県	4		6	15				1			26			4									4
岐阜県	22		25	418	1	1		14	168		649	9		9	113	4	4		9	20			168
静岡県	12	1		221		14					248	1		29		10							40
愛知県											0												0
三重県	4		2	1,618		8		29			1,661			117		1			7				125
滋賀県	2		3	297							302	4		45		1							50
京都府											0												0
大阪府	22		7	1,360	4	5		30	21	4	1,453			1						1			2
兵庫県											0												0
奈良県											0												0
和歌山県	10		1	440		7		5			463	10		2	95		7		3				117
鳥取県	2			141		4		23	66	3	239			1									1
島根県											0												0
岡山県											0												0
広島県	51			46	1		21				119	6		23				3					32
山口県	22			42	8	2					74	4		16									20
徳島県											0												0
香川県				21	2			4			27			4					4				8
愛媛県	15			456		5		7	5	5	493	4		50	1	2			1		1		59
高知県	2			52				10		1	65			8					5				13
福岡県											0												0
佐賀県	15			148		3		14	2		182	7		20					2				29
長崎県											0												0
熊本県	14			177	1	1		13	1		207	7		28	3	3			6				47
大分県				337				7	4		348			32		1			1				34
宮崎県	11			952		2		13	8	11	997	3		60		1			3	1	1		69
鹿児島県	1			20		2					23			6		1							7
沖縄県											0												0
合計	290	1	51	12,959	35	94	23	324	388	174	14,339	69	12	12	875	16	45	3	60	29	55	1,176	

	令和4年度（11月末時点） （合計）										
	移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り	コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	W i - F i 工事	インカム	介護記録とのシステム連動	合計
北海道	6			793				19	5	1	824
青森県	12			345	10		1	5	8		381
岩手県											0
宮城県	8	6		553			1	3	79	163	813
秋田県				138		7		9		20	174
山形県											0
福島県	5		1	378	2	9		14	7	1	417
茨城県	4		2	652	2	3		12			675
栃木県	1			66		1		8	19	13	108
群馬県											0
埼玉県	3			245	1	4					253
千葉県		6		424	1	14		13		5	463
東京都 介護保険課											0
東京都 施設支援課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	18			2,256	5	7		50			2,336
新潟県	5		1	29	2	5		25	1		68
富山県	23			406		1		13	1		444
石川県	10		4	136	3	3		2			158
福井県											0
山梨県											0
長野県	4		6	19				1			30
岐阜県	31		34	531	5	5		23	188		817
静岡県	13	1		250		24					288
愛知県											0
三重県	4		2	1,735		9		36			1,786
滋賀県	6		3	342		1					352
京都府											0
大阪府	22		7	1,361	4	5		30	22	4	1,455
兵庫県											0
奈良県											0
和歌山県	20		3	535		14		8			580
鳥取県	2			142		4		23	66	3	240
島根県											0
岡山県											0
広島県	57			69	1		24				151
山口県	26			58	8	2					94
徳島県											0
香川県				25	2			8			35
愛媛県	19			506	1	7		8	5	6	552
高知県	2			60				15		1	78
福岡県											0
佐賀県	22			168		3		16	2		211
長崎県											0
熊本県	21			205	4	4		19	1		254
大分県				369		1		8	4		382
宮崎県	14			1,012		3		16	9	12	1,066
鹿児島県	1			26		3					30
沖縄県											0
合計	359	13	63	13,834	51	139	26	384	417	229	15,515

※東京都は令和3年度に介護保険課と施設支援課の2部署でそれぞれ異なる補助要件で事業を実施したため分けて計上している。

③その他の介護ロボット開発・普及の促進に関する事業の実施状況

a) 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」以外の実施状況  
 令和4年度、地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」以外での介護ロボット開発・普及等に関する支援の実施状況については、「実施した」と回答したのは8都道府県だった。その具体的な支援内容は、以下、b)～d)のとおり。

	回答数	割合
実施した	8	17.0%
実施していない（令和5年度実施予定がある）	4	8.5%
実施していない	35	74.5%
合計	47	100.0%

b) 開発支援

該当なし

c) 導入支援

		令和5年度
福島県	事業名	福島県介護ロボット普及促進事業
	執行額	12,627千円
	事業内容	福島県内に研究開発・生産拠点のある介護ロボット4機器を公募により決定し、その導入経費を補助する。
	対象者	福島県内の介護事業者
	対象人数(対象社数)	21台
	実施時期	9～11月（予定）

d) 普及・啓発支援

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
北海道	事業名	介護ロボット普及推進事業	介護ロボット普及推進事業		
	執行額	128,156千円	128,156千円		
	事業内容	介護ロボット普及推進センターの設置	介護ロボット普及推進センターの設置		
	対象者	—	—		
	対象人数(対象社数)	—	—		
福島県	実績	4地区に設置	4地区に設置	福島県介護ロボット普及促進事業 39,407千円	
	事業名	介護支援ロボット導入促進事業	介護支援ロボット導入促進事業		
	執行額	30,627千円	41,900千円		
	事業内容	県内の介護福祉士養成校や介護事業所に県産ロボットを無償貸与する等して、普及促進を図る。	県内の介護福祉士養成校や介護事業所に県産ロボットを無償貸与する等して、普及促進を図る。		県内の介護福祉士養成校や介護事業所に県産ロボットを無償貸与する等して、普及促進を図る。
	対象者	県内の介護福祉士養成校や介護事業所	県内の介護福祉士養成校や介護事業所		県内の介護福祉士養成校や介護事業所
	対象人数(対象社数)	養成校：7校 介護事業所：50事業所	養成校：7校 介護事業所：50事業所		養成校：6校 介護事業所：50事業所
実績	養成校：7校 介護事業所：21事業所	養成校：7校 介護事業所：56施設	—		

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
東京都	事業名	組織・人材マネジメント事業	組織・人材マネジメント事業
	執行額	105,431千円	122,848千円
	事業内容	①生産性向上セミナーの開催 ②公開見学会の開催 ③展示スペースの運営（出張展示含む） ④次世代・デジタル機器導入前セミナーの開催 ⑤次世代・デジタル機器導入後セミナーの開催 ⑥アドバンスセミナーの開催 ⑦人材育成セミナーの実施 ⑧個別相談の実施 ⑨専門相談の実施	①生産性向上セミナーの開催 ②公開見学会の開催 ③展示スペースの運営（出張展示含む） ④次世代・デジタル機器導入前セミナーの開催 ⑤次世代・デジタル機器導入後セミナーの開催 ⑥アドバンスセミナーの開催 ⑦人材育成セミナーの実施 ⑧個別相談の実施 ⑨専門相談の実施
	対象者	都内介護事業所	都内介護事業所
東京都	対象人数(対象社数)	①生産性向上セミナーの開催 2種類1回ずつ動画配信 ②公開見学会の開催 50事業所(延4回) ③展示スペースの運営(出張展示含む)常設は通年、出張は2回 ④次世代・デジタル機器導入前セミナーの開催 300事業所(15事業所×20回) ⑤次世代・デジタル機器導入後セミナーの開催 次世代介護機器50事業所(25事業所×2回) デジタル機器250事業所(25事業所×10回) ⑥アドバンスセミナーの開催 継続分20事業所1日間 新規分20事業所2日間 ⑦人材育成セミナーの実施 3種類動画配信1回ずつ ⑧個別相談の実施 ⑨専門相談の実施	①生産性向上セミナーの開催 2種類1回ずつ動画配信 ②公開見学会の開催 50事業所(延4回) ③展示スペースの運営(出張展示含む)常設は通年、出張は2回 ④次世代・デジタル機器導入前セミナーの開催 270事業所(15事業所×18回) ⑤次世代・デジタル機器導入後セミナーの開催 次世代介護機器175事業所(25事業所×7回) デジタル機器100事業所(25事業所×4回) ⑥アドバンスセミナーの開催 継続分20事業所1日間 新規分20事業所2日間 ⑦人材育成セミナーの実施 3種類動画配信1回ずつ ⑧個別相談の実施 ⑨専門相談の実施
	実績	①生産性向上セミナーの開催 youtube配信 ②公開見学会の開催 61事業所(延4回) ③展示スペースの運営(出張展示含む)常設見学138名、体験10件 相談30件 ④導入前セミナーの開催 次世代28事業所 デジタル48事業所 ⑤導入後セミナーの開催 次世代17事業所 デジタル動画配信に変更 ⑥アドバンスセミナーの開催 継続分20事業所2回 新規分20事業所3回 ⑦人材育成セミナーの実施 3種類動画配信1回ずつ ⑧個別相談の実施 19事業所 ⑨専門相談の実施	一部未定
	事業名	介護ロボット普及推進事業	介護ロボット普及推進事業
	執行額	8,181千円	4,883千円
神奈川県	事業内容	介護ロボット公開事業所の運営、セミナーの開催等	介護ロボット公開事業所の運営、セミナーの開催等
	対象者	介護施設の関係者等	介護施設の関係者等
	対象人数(対象社数)	公開事業所3施設	公開事業所3施設
	実績	コロナのためのオンライン開催	オンライン開催予定
岡山県	事業名	介護ロボット普及推進研修事業(岡山市)	介護ロボット普及推進研修事業(岡山市)
	執行額	22,202千円	23,000千円
	事業内容	介護ロボットの貸与、研修会の実施、調査研究	介護ロボットの貸与、研修会の実施、調査研究
	対象者	岡山市内の介護事業所	岡山市内の介護事業所
広島県	事業名	ICT・介護ロボット普及促進事業	ICT・介護ロボット普及促進事業(予定)
	執行額	1,131千円	1,128千円
	事業内容	セミナー開催	セミナー開催
	対象者	介護事業所	介護事業所
長崎県	事業名	介護ロボット・ICT普及促進事業	介護ロボット・ICT普及促進事業
	執行額	1,690千円	1,013千円
	事業内容	導入促進セミナー・機器展示、導入先進施設見学会	導入促進セミナー・機器展示
	対象者	介護事業者	介護事業者
熊本県	事業名	介護ロボット体験・普及促進事業	介護ロボット体験・普及促進事業
	執行額	3,520千円	3,729千円
	事業内容	介護ロボットの効果的な活用方法や導入事例等を介護施設に紹介するため、県福祉総合センターに介護ロボット展示・体験コーナーを設置するとともに、介護ロボットの有用性を実感してもらうため、介護施設に対して無償貸出を行うもの。(県社協委託)	介護ロボットの効果的な活用方法や導入事例等を介護施設に紹介するため、県福祉総合センターに介護ロボット展示・体験コーナーを設置するとともに、介護ロボットの有用性を実感してもらうため、介護施設に対して無償貸出を行うもの。(県社協委託)
	対象者	介護施設・事業所関係者、福祉系高校生等	介護施設・事業所関係者、福祉系高校生等
宮崎県	事業名	介護ロボット体験・普及促進事業	介護ロボット体験・普及促進事業
	執行額	3,520千円	3,729千円
	事業内容	介護ロボットの効果的な活用方法や導入事例等を介護施設に紹介するため、県福祉総合センターに介護ロボット展示・体験コーナーを設置するとともに、介護ロボットの有用性を実感してもらうため、介護施設に対して無償貸出を行うもの。(県社協委託)	介護ロボットの効果的な活用方法や導入事例等を介護施設に紹介するため、県福祉総合センターに介護ロボット展示・体験コーナーを設置するとともに、介護ロボットの有用性を実感してもらうため、介護施設に対して無償貸出を行うもの。(県社協委託)
	対象者	介護施設・事業所関係者、福祉系高校生等	介護施設・事業所関係者、福祉系高校生等

#### ④介護ロボットに関するイベントや会議等の開催状況

令和4年度に管内で開催された介護ロボットの展示等を含むイベントは以下のとおり。令和3年度と比較してオンラインでの開催よりも会場での実地開催が多くなった。

都道府県	イベント名称	開催日	開催場所 (市町村名)	主催者	来場者数	出展 企業数	運営費に対する 公的資金の投入 の有無
福島県	メディカルクリエイション ふくしま	令和4年10月28日	郡山市	ふくしま医療機器開発支 援センター	3,716人	213社	有
神奈川県	「介護×テクノロジー」 活用オンラインセミナー in Kanagawa	令和5年2月 (予定)	オンライン	神奈川県	未定	-	有
新潟県	体験！福祉を支えるロボッ トの世界	令和4年11月12日	新潟市	さくらメディカル(株) ほか	-	-	無
兵庫県	令和4年度ひょうご福祉用 具・介護ロボットフェス	令和4年7月21・22日	神戸市	厚生労働省・ 福祉のまちづくり研究所	300人	40社	無
香川県	第9回かがわ介護王座決定 戦	令和4年11月9日	高松市	香川県	197人	4社	有
愛媛県	令和4年度愛媛県ノーリフ ティングケア普及啓発事業 マネジメント研修	令和4年7月4日	県総合社会 福祉会館 (松山市)	愛媛県、社会福祉法人愛 媛県社会福祉協議会	135人	-	有
	介護ロボット相談窓口の開 所式 介護ロボット導入・活用セ ミナー(介護ロボットの開 発・実証・普及のプラット フォーム事業)	令和4年7月14日	県総合社会 福祉会館 (松山市)	愛媛県、社会福祉法人愛 媛県社会福祉協議会	46人	18社	有
	第1回介護ロボット導入研 修会(介護ロボットの開 発・実証・普及のプラット フォーム事業)	令和4年9月6日	県総合社会 福祉会館 (松山市)	社会福祉法人愛媛県社会 福祉協議会	44人	-	有
高知県	ふくし総合フェア	令和4年11月18・19 日	高知市	高知県、(福)高知県社会 福祉協議会、日本ノー リフト協会高知支部、高 知福祉機器展実行委員会	748人	94社	有

#### ⑤地域医療介護総合確保基金による令和4年度「介護事業所に対する業務改善支援事業」の実施概況

令和4年度「介護事業所に対する業務改善支援」について、7件が「実施した」と回答した。それぞれの実施内容と補助額については、以下のとおり。

	回答数	割合
実施した	7	14.9%
実施していない	40	85.1%
合計	47	100%

※実施回答(北海道、青森県、福井県、埼玉県、兵庫県、広島県、高知県)

#### 【実施内容】

##### ○第三者による生産性向上の取組の支援

- ・ガイドラインに基づき、職場環境の改善等に係る支援について知識・経験を有する第三者が、対象となる介護事業所において実地による個別支援を実施する。
- ・1事業所あたり対象経費の1/2以内(上限30万円)。

	件数	補助額
北海道	6	1,800,000円
兵庫県	5	1,416,000円
合計	11	3,216,000円

##### ○介護現場革新会議に係る支援：介護現場革新会議の開催

- ・都道府県又は市町村において、管内の介護関係団体や有識者等と「介護現場革新会議」を開催し、地域における介護現場の課題に即した対応方針を策定する。
- ・介護現場革新会議の開催に伴う必要な経費(会場借り上げ費用及び委員の旅費・謝金)。

	件数	補助額
北海道	1	未定
青森県	1	0円
福井県	1	561,000円
合計	3	561,000円

○介護現場革新会議に係る支援：地域のモデル施設の育成

- ・業務改善に取り組むモデル施設を選定し、その取組に必要な支援を実施する。
- ・1事業所あたり対象経費の1/2以内（上限500万円）。

	件数	補助額
青森県	1	0円
合計	1	0円

○介護現場革新会議に係る支援：介護業界のイメージ改善、その他

- ・中高生等に対する介護職の魅力発信等による新規介護人材の確保や、介護職員の永年勤続表彰等の介護人材の定着支援を実施する。
- ・介護助手の活用支援や外国人人材の活用など、業務改善や人材確保に資する支援を実施する。
- ・介護業界のイメージ改善及びその他に関する事業を実施するための必要な経費（会場設営費や有識者への旅費・謝金等）。

	実施事業名	補助額
埼玉県	スマート介護施設モデル事業	685,000円
福井県	多様な働き方推進モデル事業所の育成	9,387,000円
広島県	介護助手等普及推進事業	1,681,000円
高知県	介護助手導入支援事業、介護福祉士等養成支援事業費補助金、キャリア教育推進事業費補助金、介護の日イベント開催委託料、外国人介護人材受入環境整備事業費補助金、外国人留学生奨学金等支援事業費補助金	67,773,000円
合計		79,526,000円

#### ⑥「ICT導入支援事業」の実施状況

「ICT導入支援事業」の実施状況について、令和3年度は47件、令和4年度46件が「実施した」と回答した。また、47件が「来年度実施を予定している」と回答した。

	令和3年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
実施した	47	97.9%	46	97.9%
実施しなかった	0	2.1%	1	2.1%
合計	47	100%	47	100%



【来年度の実施予定】

	回答数	割合
来年度実施を予定している	47	100.0%
実施の予定はない	0	0.0%
合計	47	100%

⑦令和4年度「介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入支援事業」（地域医療介護総合確保基金、施設整備分）の実施状況および実績  
「介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入支援事業」（地域医療介護総合確保基金、施設整備分）の実施状況について、令和4年度33件が「実施した」と回答した。また、33件が「来年度実施を予定している」と回答した。

	回答数	割合
実施した	33	70.2%
実施しなかった	14	29.8%
合計	47	100%

【来年度の実施予定】

	回答数	割合
来年度実施を予定している	33	70.2%
実施の予定はない	13	27.7%
回答無し	1	2.1%
合計	47	100%

【介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行うロボット・センサー・ICTの導入支援件数・補助額（円、国・都道府県の合計）の実績】

	件数	金額
北海道	4	75,635,000
宮城県	5	79,079,000
茨城県	6	211,375,000
群馬県	2	22,381,000
埼玉県	29	310,361,000
千葉県	31	488,583,000
神奈川県	87	3,247,629,000
石川県	4	46,745,000
長野県	13	283,855,000
岐阜県	5	91,091,000
静岡県	11	184,122,000
兵庫県	3	116,999,000
奈良県	7	239,439,000
和歌山県	9	280,803,000
鳥取県	16	273,290,000
岡山県	26	441,807,000
広島県	38	766,375,000
山口県	3	89,460,000
徳島県	5	143,339,000
愛媛県	4	102,480,000
高知県	2	84,840,000
福岡県	10	170,352,000
熊本県	11	148,260,000
鹿児島県	3	17,793,000
合計	334	7,916,093,000

## 10. 福祉用具等の安全利用に関する整理・報告・発信

### (1) 福祉用具に係る重大製品事故情報の周知

#### ①概要

厚生労働省では、消費者庁のホームページで公開されている「消費生活製品の重大製品事故」のプレスリリースの中から、福祉用具に係る重大製品事故を抜粋し、毎週月曜日に各関係機関へ周知を行っている。

プレスリリースは毎週火曜日と金曜日に公開されており、テクノエイド協会では公開された情報の中から福祉用具に係る重大製品事故を抽出し、厚生労働省へ報告することとしている。また、本情報については、厚生労働省から都道府県に対し、周知を行っている。

#### 【周知先】

- ・各都道府県、指定都市、中核市
- ・公益財団法人テクノエイド協会
- ・一般社団法人日本福祉用具供給協会
- ・一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会
- ・一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会

#### ②報告様式

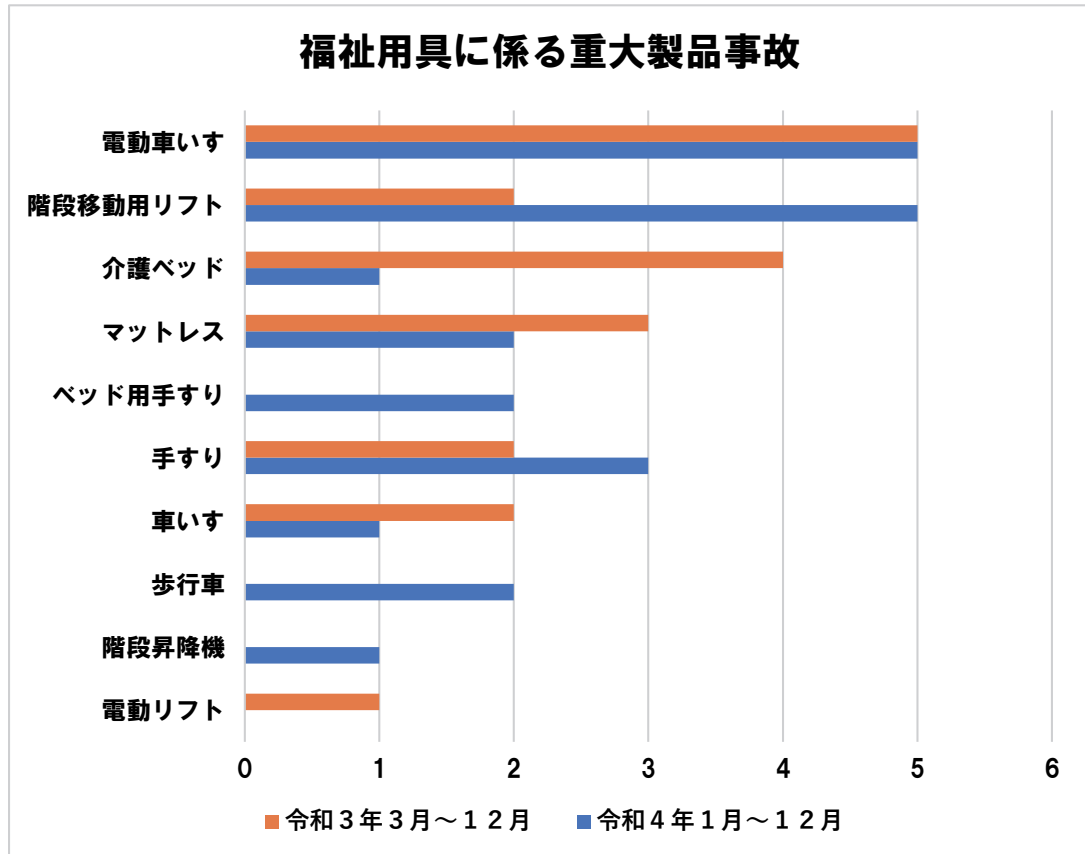
周知方法として、事務連絡及び、以下の一覧表を付記している。

情報提供日	消費者庁公表日	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
令和4年4月4日(月)	令和4年4月1日(金)	令和4年2月13日	令和4年3月28日	マットレス			重症1名	圧縮梱包された当該製品を開封中、当該製品が膨らみ、持っていたカッターで、左手を負傷した。当該製品に起因するものか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは令和4年3月22日
令和4年4月18日(月)	令和4年4月12日(火)	令和4年3月28日	令和4年4月8日	階段移動用リフト			死亡1名	当該製品を使用中、搭乗者が転落し、病院に搬送後、入院中に死亡した。当該製品に起因するものか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	東京都	
令和4年6月13日(月)	令和4年6月7日(火)	令和3年7月7日	令和4年6月3日	階段昇降機			死亡1名	当該製品を使用中、当該製品の肘掛けと2階の床(はりに)に挟まれ、病院に搬送後、死亡した。当該製品の施工状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは令和3年7月7日 報告書の提出期限を
	令和4年6月10日(金)	令和4年5月20日	令和4年6月8日	歩行車			重傷1名	使用者(80歳代)が当該製品を使用中、転倒し、足を負傷した。当該製品に起因するものか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	愛知県	
令和4年7月4日(月)	令和4年7月1日(金)	令和4年5月26日	令和4年6月28日	電動車いす(ジョイスティック形)			重傷1名	当該製品で走行中、ブレーキが効かず、ガードパイプに衝突し、転倒、右足を負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは令和4年6月15日
令和4年7月19日(火)	令和4年7月15日(金)	令和4年6月30日	令和4年7月11日	介護ベッド用手すり			死亡1名	使用者(80歳代)が当該製品とマットレスにけい部が挟まれた状態で発見され、病院に搬送後、死亡が確認された。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	静岡県	介護ベッド用手すりについての注意喚起を実施(特記事項を参照)
令和4年7月25日(月)	令和4年7月22日(金)	令和4年7月8日	令和4年7月20日	車いす			重傷1名	介助者が当該製品に使用者を乗せてスロープを下っている際に、転倒し、使用者が負傷した。当該製品に起因するものか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	
令和4年8月15日(月)	令和4年8月12日(金)	令和4年7月14日	令和4年8月9日	介護ベッド			重傷1名	施設で介助者が使用者を車いすから当該製品へ移乗中、当該製品の脚部が外れベースフレームが落下し、左足指を負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	大阪府	
令和4年9月12日(月)	令和4年9月9日(金)	令和4年8月18日	令和4年9月5日	電動車いす(ジョイスティック形)			重傷1名	当該製品を使用中、縁石を乗り越え、座下へ転落し、負傷した。当該製品に起因するものか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	静岡県	
令和4年9月20日(火)	令和4年9月13日(火)	令和4年8月13日	令和4年9月9日	電動車いす(ハンドル形)			死亡1名	当該製品に乗車していた使用者(80歳代)が、当該製品とともに道路脇のり面に転落しているところを発見され、死亡が確認された。当該製品に起因するものか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	新潟県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和4年9月5日
令和4年10月24日(月)	令和4年10月18日(火)	令和4年4月11日	令和4年10月14日	マットレス			重傷1名	当該製品を使用したところ、皮膚障害を発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	大阪府	事業者が重大製品事故として認識したのは令和4年10月4日
令和4年10月31日(月)	令和4年10月28日(金)	令和3年9月23日	令和3年10月14日	電動ユニット(車いす用)	X0F2	ヤマハ発動機株式会社	重傷1名	当該製品でスロープを走行中、当該製品の右車輪が空転して左に曲がり、壁に右手をついて、右肩を負傷した。調査の結果、当該製品は、右車輪のクラッチピンを支えているプレートへのねじの締め付け状態が適切でなかったため、使用中の振動等でねじが緩み、脱落したことにより、モーターの回転が右車輪に伝達されない状態になり、異常を検出して左右のモーターが停止した際、左車輪のみ停止して右車輪は惰性で回転し、車輪が左車輪を交点にして左に旋回して事故に至ったものと推定される。	茨城県	令和3年10月19日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であったことが特定できていない事故として公表していたもの

令和4年11月21日(月)	令和4年11月15日(火)	令和3年4月1日	令和3年5月11日	階段移動用リフト	S38 車いすタイプ	株式会社アルパジャパン(輸入事業者)	重傷1名	当該製品を使用中、搭乗者(70歳代)が転落し、右足を負傷した。 調査の結果、当該製品は、前後の重心が釣り合った状態を維持しながら階段を昇降する仕様であるが、前後の重心が釣り合った状態からハンドルバーを前方へ傾けた際に、搭乗者を含めた当該製品が前方へ転倒することを抑制する機構が装備されていない構造であるため、使用者が操作を誤った際にハンドルバーが前方に傾きすぎたことで当該製品のバランスが崩れて事故に至ったものと推定される。 なお、取扱説明書には、「傾斜角度は25～30度が最もバランスのよい状態であり、それより後方に傾けると重く感じ、前方へ傾けると引っぱられて前方転倒しやすくなる。」「階段の昇降中は、決してハンドルから手を離さない。」旨、記載されている。	宮城県	令和3年5月14日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が否かが特定できていない事故として公表していたもの
		令和4年3月28日	令和4年4月8日	階段移動用リフト	S35 車いすタイプ	株式会社アルパジャパン(輸入事業者)	死亡1名	当該製品を使用中、搭乗者が転落し、病院に搬送後、入院中に死亡した。 調査の結果、当該製品は、駆動スイッチに起動条件がなく、昇降動作時に駆動輪が機体と同一平面上に着地した場合、機体が起き上がり、また、前方転倒を抑制する機能がない構造であったため、当該製品の使用中にバランスを崩して事故に至ったものと推定される。	東京都	令和4年4月12日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が否かが特定できていない事故として公表していたもの
令和4年12月19日(月)	令和4年12月9日(金)	令和4年10月24日	令和4年12月13日	歩行車			重症1名	当該製品を下り坂で使用時、左ブレーキが効かず、転倒し、足を負傷した。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中	静岡県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和4年12月5日
令和5年1月16日(月)	令和5年1月13日(金)	令和4年10月21日	令和5年1月10日	マットレス			重症1名	施設で当該製品を使用中、介助者が使用者を横向きにさせたところ、左肘を負傷した。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	福岡県	事業者が重大製品事故として認識したのは、令和4年12月27日
令和5年1月23日(月)	令和5年1月20日(金)	令和4年12月6日	令和5年1月16日	スリングシート(介護リフト用)			死亡1名	施設で介護リフトに当該製品を装着して、搭乗者(90歳代)をベッドから車いすに移乗していたところ、当該製品から落下し、死亡した。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和5年1月10日
令和5年2月13日(月)	令和5年2月10日(金)	令和4年12月28日	令和5年2月7日	介護ベッド用手すり			死亡1名	施設で当該製品の隙間に首が挟まった状態で発見され、病院に搬送後、死亡が確認された。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	静岡県	製造から20年以上経過した製品 事業者が重大製品事故として認識したのは令和5年1月27日 介護ベッド用手すりについての注意喚起を実施(特記事項を参照)
令和5年3月20日(月)	令和5年3月17日(金)	令和5年2月28日	令和5年3月13日	電動車いす(ハンドル形)			死亡1名	使用者(80歳代)が当該製品を使用中、当該製品ごと車道に転倒し、自動車に衝突されて死亡した。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	広島県	

### ③重大製品事故の内訳

福祉用具に係る重大製品事故を令和3年3月～12月と、令和4年1月～12月に区分けて集計すると、どちらの年度も電動車いすが最も多かった。



## (2) 福祉用具等の安全利用に関する情報の整理・報告・発信について

### ①背景・目的

高齢者の自立を支援し、介護者の負担を軽減する「福祉用具・介護ロボット（以下「福祉用具等」）」は、高齢者の心身機能の維持・向上、さらには活動や参加を促すものとして、重要な役割を果たすものである。

一方、こうした福祉用具等を安全・快適に使用するためには、高齢者の身体的及び精神的な状態は勿論のこと、使用する場面や環境など、利用者の置かれている状態に合致した機器を選定し、利用することが求められる。

近年、在宅・施設を問わず、福祉用具等を使用する機会は増加しており、令和3年度の介護報酬改定に関する審議報告では、「福祉用具の事故等に関して、再発防止の観点から、市町村等においてどのような内容の情報が収集されているか実態把握を行うとともに、関係省庁及び関係団体が連携しつつ、事故が起きる原因等の分析や情報提供の方法等について、今後、更なる効果的な取組を検討すべき。」となされた。

こうした背景を踏まえ、本事業では、福祉用具等の使用に伴う安全性等の確保をより一層推進するため、「事故やヒヤリハットの情報」を効果的に活用するための検討委員会を設立し、必要な整理を行うとともに、事故等の報告及び関係機関等への発信を行うこととした。

### ②対象範囲

本事業において、取り扱う福祉用具等の範囲は、以下のとおりとした。

- 介護保険において福祉用具貸与・特定福祉用具販売の対象となっている福祉用具
- ロボット介護機器の開発重点分野（平成29年10月）に該当する介護ロボットとし、かつ実用的に使用されているもの
- その他、在宅及び施設・事業所等において、使用される福祉用具等（高齢者の日常生活の便宜を図るための用具及び、介護を行う者の負担の軽減を図る用具）

### ③事業内容

- a) 福祉用具等の安全利用に関する検討委員会の設置・開催
- b) 対象とする「事故及びヒヤリハット情報」の範囲の明確化
- c) 関係機関との連携及び情報の収集
- d) 要因の分析及び事例の作成
- e) 事故及びヒヤリハット情報の提供
- f) 福祉用具に係る重大製品事故情報の周知

### ④検討委員会の設置

福祉用具等に関する有識者及び実務者、関係事業者団体等からなる検討委員会を設置し、事故及びヒヤリハット情報の収集ならびに有効活用の仕組みの検討を行った。

また、収集した情報の精査、検討事例の抽出、要因分析及び加工事例の作成は、事例検討部会を設置して行うこととした。

福祉用具等の安全利用に関する検討委員会 委員名簿

○検討委員会

(五十音順・敬称略)

氏名	所属
◎ 伊藤 勝規	とちぎノーマライゼーション研究会
後藤 憲治	日本福祉用具供給協会
七種 秀樹	日本介護支援専門員協会
酒井 健一	製品評価技術基盤機構製品安全センター情報解析企画課 (NITE)
清水 壮一	日本福祉用具・生活支援用具協会 (JASPA)
鈴木 健太	全国老人福祉施設協議会
堤 道成	有限会社サテライト
東島 弘子	国際医療福祉大学大学院 (福祉支援工学分野)
堀家 京子	武蔵野市福祉公社
前田 雅晴	全国老人保健施設協会
松下 能万	日本介護福祉士会
山本 一志	全国福祉用具専門相談員協会

◎委員長

○事例検討部会

(五十音順・敬称略)

氏名	所属
石川 哲也	株式会社仁済
◎ 伊藤 勝規	とちぎノーマライゼーション研究会
鈴木 健太	特別養護老人ホーム 砧ホーム
堤 道成	有限会社サテライト
堀家 京子	武蔵野市福祉公社

◎委員長

○オブザーバー

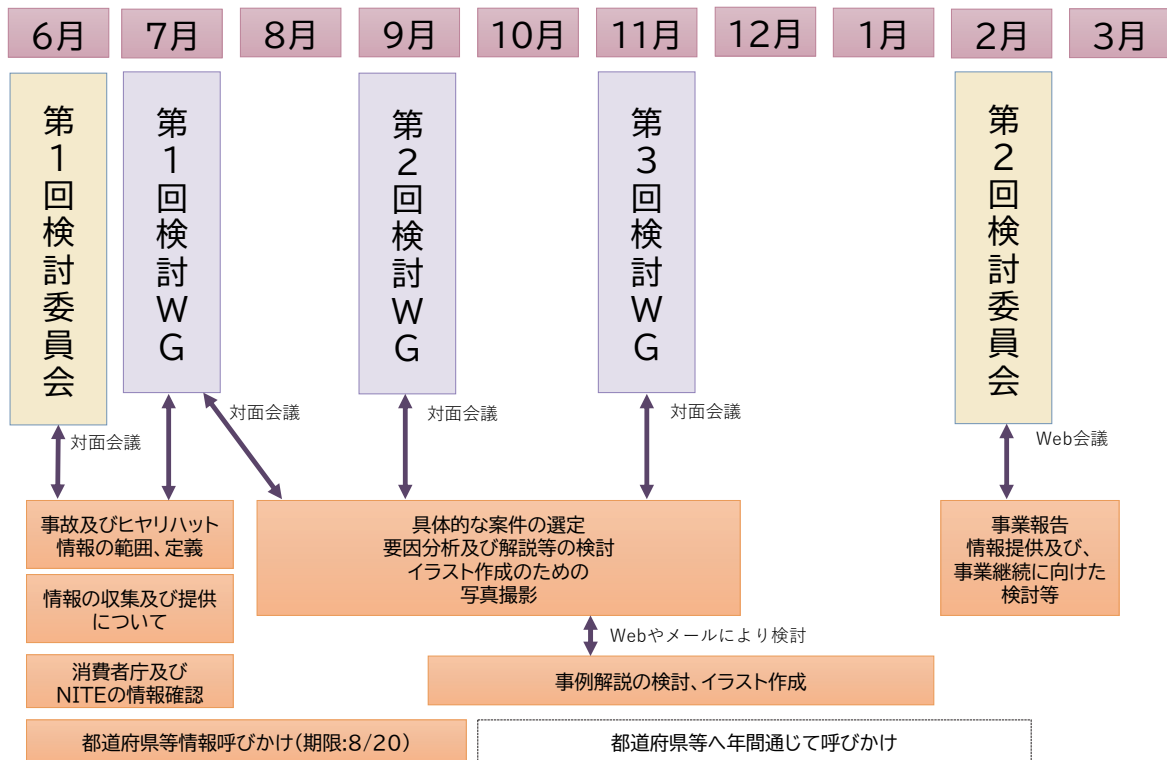
(敬称略)

氏名	所属
三浦 範大	製品評価技術基盤機構製品安全センター技術基準規格課 (NITE)
川船 功	消費者庁消費者安全課
西岡 賢	経済産業省産業保安グループ製品安全課
南須原美恵	経済産業省商務・サービスグループ医療・福祉機器産業室
東 好宣	厚生労働省老健局高齢者支援課
長倉 寿子	厚生労働省老健局高齢者支援課

⑤検討委員会の実施結果

事業は以下の流れで遂行した。

## 検討委員会・検討WG等 事業の流れ



### a) 第1回 検討委員会

○日時 令和4年6月29日（水）10:00～12:00

○場所 テクノエイド協会・会議室（対面開催）

- 内容
- ・本事業の概要と概念図
  - ・対象とする事故及びヒヤリハット情報の範囲
  - ・事故及びヒヤリハット情報の収集について
  - ・要因分析及び加工事例の作成について

### b) 第1回 事例検討部会

○日時 令和4年7月12日（火）10:00～12:00

○場所 テクノエイド協会・会議室（対面開催）

- 内容
- ・本事業の概要と概念図
  - ・対象とする事故及びヒヤリハット情報の範囲
  - ・事故及びヒヤリハット情報の収集について
  - ・要因分析及び加工する事例の選定について

### c) 第2回 事例検討部会

○日時 令和4年9月6日（火）9:00～15:00

○場所 株式会社仁済 会議室（対面開催）

- 内容
- ・情報収集の結果について
  - ・可搬型階段昇降機の状況について
  - ・要因分析及び加工事例を作成する案件の追加選定について

- ・ 具体的な要因の分析、解説等の検討
- ・ 写真撮影及びイラストに込めるポイントの確認

**【具体的な実施方法】**

- 石川委員に協力を得て、株式会社仁済のオフィスで実施
- 事例イラストに必要な福祉用具等のデモ機を用意
- 写真撮影の前に、想定される要因の検討、事例及びイラストイメージの共有
- 委員が自ら介助者、被介助者のモデルとなり、写真を撮影

### 【第2回検討WGの様子】



#### d) 第3回 事例検討部会

○日時 令和4年11月22日（火）13:00～15:30

○場所 テクノエイド協会・会議室（対面開催）

- 内容
  - ・事例の収集、要因分析、加工事例の振り返り
  - ・作成した事例のタイトル及び場面、解説等の検討
  - ・事業継続に向けた検討課題 等

#### e) 第2回 検討委員会

○日時 令和5年2月24日（金）10:00～11:30

○場所 テクノエイド協会・会議室（オンライン開催）

- 内容
  - ・新規収集及び要因分析、事例の作成について
  - ・新たに作成したヒヤリハット事例
  - ・事故及びヒヤリハット情報の提供について
  - ・事業継続に向けた方策等について

#### ⑥事故及びヒヤリハット情報の収集

福祉用具及び介護ロボット（以下「福祉用具等」）の利用に伴う事故を未然に防止するため、高齢者福祉の現場において、発生又は、発生が見込まれる福祉用具等にかかわる「事故及びヒヤリハット情報」を収集することとした。



## a) 情報収集について

### ●既に公表されている情報

消費者庁及び製品評価技術基盤機構（NITE）において、既に公表されている事故情報等から、福祉用具等にかかわる情報を収集・精査した。

平成29年1月～令和4年6月10日（5年間分）

### ●介護保険施設等における事故の報告様式による情報収集

令和4年1月～6月の間に発生した、居宅介護サービスにおける事故情報について、市町村を通じて情報収集を行った。

### ●安全利用に関する「事故及びヒヤリハット情報」の提供シートによる情報収集

多くの関係者から福祉用具等に関するヒヤリハット情報を収集するため、提供シートを作成し、情報収集を行った。

要因分析や事例検討の関係上、受付期間を原則、令和4年7月15日～令和4年8月20日とし、主に居宅介護サービスにおける「事故及びヒヤリハット情報」を収集した。

また、福祉用具等の安全利用にかかる情報収集を徹底するため、事故及びヒヤリハット情報の「範囲」及び「定義」を設けることとし、直近6か月以内に発生した事案とした。

## b) 情報提供の呼びかけ等

都道府県及び市町村、介護保険サービスを行う介護施設・事業所等、さらには検討委員の所属する団体等に対して、情報提供の呼びかけを行った。

情報提供の受付期間（※提供は任意とした。）

令和4年7月15日～令和4年8月20日 ※但し、期間を過ぎても受付することとした。

- ・ 都道府県及び市町村、介護保険サービスを行う介護施設・事業所
- ・ 検討委員の所属する団体と会員
- ・ 福祉用具及び介護ロボットのメーカー、供給事業者 他

提供の呼びかけは、電子メールにて行うとともに、協会ホームページに事業の趣旨及び提供シート、提出先・方法等を掲載した。

なお、都道府県及び市町村の担当部局については、厚生労働省から事務連絡を発出していただいた。

⑦情報収集の結果及び事例の作成

上記より収集した情報をもとに、事例検討部会において、全26件の事例を作成することとした。

	A	B		C
情報源	既に公表されている情報	介護保険施設等における事故の報告様式	福祉用具等の安全利用に関する「事故及びヒヤリハット情報」の提供シート	可搬型階段昇降機による死亡事故
情報収集	631件 ↓ 305件	280件	79件	3件
		※359件（113機関等）		
		内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅 50件</li> <li>・デイサービス 39件</li> <li>・施設 270件</li> </ul>		
事例作成	26件			
内訳	20件	4件		2件

※令和4年8月25日までに提出があった359件について精査した。

（情報収集から要因分析及び事例作成の経過）

A. 既に公表されている情報

既に公表されている情報、631件を精査した結果、重複及び類似するものについては、統合・整理することとした。（情報量の観点から、統合・整理はNITEのデータに寄せた。）

また、①事故の原因があきらかに製品に起因するもの（製品の整備不良や経年変化等によるものを除く）及び、②一般用浴室椅子等、汎用製品、③事故内容の説明が、「母が介護ベッドから転落し骨折して入院した。」「勤務しているグループホームで高齢者が車いすから転落。」等、状況が具体的にイメージできないものは除外することとし、全305件を当初の検討対象とした。

検討対象数が一定数あることから、さらに昨今の高齢者介護の現状や課題等を踏まえ、以下に該当する案件から、優先的に検討することとし、全20件の事例を作成することとした。

（優先的に検討するカテゴリ）

- ・既に協会HPで公開しているヒヤリハット情報（371事例）と類似しないもの
- ・より重症化する恐れのあるもの
- ・在宅の独居高齢者、老々家族
- ・認知症高齢者
- ・介護施設やデイサービスの場面（送迎車や特殊入浴浴槽、リフト）
- ・介護ロボット ・ ICT機器

## B. 新たに情報収集した事例

令和4年8月25日までに収集した359件の情報を精査した結果、車いすや歩行器、シルバーカーを手すり代わりにしての立ち上がりによる転倒や、車いすから前方にある物を拾おうとしての転倒、フットレストを上げずに立ち上がろうとしての転倒といった、既存ケースの類似のものが多くあった。

また、歩行器でのフラつきによる転倒、ベッド上で端座位保持できずにずり落ちたなど、利用者本人のADLに起因するものなども多く見られた。

今回は、居宅介護事業所に力点を置いて情報収集したところであるが、介護施設で発生した事故及びヒヤリハット情報の提供が270件（全体75%）と多く、主に夜間におけるベッドからの転倒・転落などであった。

一方、提供された情報だけでは、情報量が少なく要因分析が困難な案件もいくつかあった。

以上のことを踏まえ、類似する事例があるもの及び、検討不可の案件等を除いた全4件について、今回事例を作成することとした。

なお、受付期間終了後についても随時収集することとし、令和5年2月15日現在、380件の情報を収集した。

## C. その他

重大事故として公表等されているもののち、過去、要因分析や事例作成したことのない「可搬型階段昇降機」について、今回特別に当該機器の関係事業者にご協力をいただき、全3件について詳細な情報を収集することができた。

詳細情報をもとに事例検討部会では、内容の類似性や想定される原因の要因分析等を行い、もって今回2事例に整理して事例を作成することとした。

### ⑧新たに作成したヒヤリハット事例について

新たに作成した26事例については資料8参照のこと。

### ⑨情報の発信方法について

#### a) インターネットによる情報提供

当協会のホームページにて、これまで情報提供していた事例（371事例）に、本年度新たに作成した事例（26事例）を加えて、広く情報提供することとした。

また、リンク集では、福祉用具関係事業者団体をはじめ、消費者庁や経済産業省、製品評価技術基盤機構等の関連情報を掲載することとした。

## 【ホームページのデザイン】

福祉用具ヒヤリハット情報  
Assistive Technology Higer! Hot Information

ホーム > 福祉用具ヒヤリハット情報 > 検索結果

### 福祉用具ヒヤリハット情報について

福祉用具及び介護ロボットの利用に関わる「事故及びヒヤリハット情報」を収集し、介護現場で起こる可能性のある事故や危険などを未然に防止するため、事例を作成し発信するものです。

降りた乗客の杖がドアに挟まったまま、バスが走りだしそうになった  
段々置き段手すりが破損し転びそうになる  
電動アシスト付きの歩行車が急減速し転倒しそうになる

福祉用具ヒヤリハット  
事例の検索

情報提供のお願い | 情報の取り扱い | リンク集 | お知らせ

### 事例を探す

フリーワード (例) 転いす 落下 検索 全件表示  
0件の結果 371件

利用シーンから探す

- 起床・就寝
- 移動
- 立位歩行
- 移動
- 歩行
- 入浴
- 食事
- 整頓
- 3Dプリンタ
- リモコン操作
- 情報の取り扱い
- 外出

主な利用場所から探す

- 寝室
- 玄関
- 洗面・脱衣所
- 廊下
- 階段
- 玄関
- トイレ
- 浴室
- キッチン
- リビング
- 車庫
- 庭
- 道路
- 公園

福祉用具ヒヤリハット情報  
Assistive Technology Higer! Hot Information

ホーム > 福祉用具ヒヤリハット情報 > 検索結果

福祉用具ヒヤリハット  
事例検索

情報提供のお願い | 情報の取り扱い | リンク集 | お知らせ

### 検索結果一覧

フリーワード (例) 転いす 落下 検索 全件表示  
0件の結果 371件

福祉用具ヒヤリハット情報  
の検索結果

利用シーンから探す

- 起床・就寝
- 移動
- 立位歩行
- 歩行
- 入浴
- 食事
- 整頓
- コミュニケーション
- リモコン操作
- 情報の取り扱い
- 外出
- 乗り物
- 危険
- その他

主な利用場所から探す

- 介護現場の備品から探す
- 介護現場の備品から探す
- 介護現場の備品から探す
- 介護現場の備品から探す

全件を入力して探す

検索

371件の結果があります

Case 172  
降りた乗客の杖がドアに挟まったまま、バスが走りだしそうになった  
介護現場の備品 対応コード (CC)A693  
120303 (介護福祉サービス・工芸社)

Case 173  
段々置き段手すりが破損し転びそうになる  
介護現場の備品 対応コード (CC)A693  
120309 (介護福祉サービス・介護福祉サービス)

Case 174  
電動アシスト付きの歩行車が急減速し転倒しそうになる  
介護現場の備品 対応コード (CC)A693  
120506 (介護福祉サービス)

Case 175  
転倒しやすいつまみ付きの電動自転車でスロープが滑るに倒れ、外れそうになる  
介護現場の備品 対応コード (CC)A693  
122121 (介護福祉サービス)

Case 176  
転倒しやすいつまみ付きの電動自転車でスロープが滑るに倒れ、外れそうになる  
介護現場の備品 対応コード (CC)A693  
122101 (介護福祉サービス)

Case 177  
介護現場の備品が破損し、破損のフレームが落下した  
介護現場の備品 対応コード (CC)A693  
121209 (介護福祉サービス)

### (閲覧者を増やすための工夫・アイデア)

- ・ トップページに事例を自動的にスクロールさせる
- ・ フリーワード検索を可能とする
- ・ 利用シーンや主な利用場所、種目や介護ロボット等から検索可能とする
- ・ 一覧表示後、絞り込みを可能とする
- ・ 事例詳細について、A4印刷を可能とする
- ・ その他

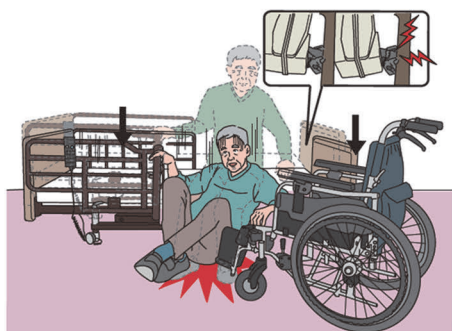
b) 冊子による情報提供（ダウンロード可とする）

本年度新たに作成した事例（26事例）を掲載した事例集を作成することとし、当協会のホームページ等に掲載し、ダウンロードして広く活用できることとした。

Case 2 介護用ベッドの部品が破断し、  
寝床のフレームが落下した

場面の説明

レンタルで利用している介護ベッドの高さ調整の構造部分が破断し寝床フレームが突然落下、車いすに移乗しようとしていた利用者が転落してしまっ



介護保険の種目 車いす CCTA95-122100：車いす  
用具の種類・利用シーン 移動／外出

解説

貸与利用の介護ベッドは、分解されて保管・運搬されることが一般的です。破断した接続部分は、保管や運搬の際に紐などで固定しぐらつせを抑える必要がありましたが、それを怠ったことで想定していなかった力が加わり、破断につながったと考えられます。貸与での利用が基本である介護保険制度では、事業者の点検整備や保管、運搬の不備が事故につながる可能性があることを教えてくれる事例です。

参考要因

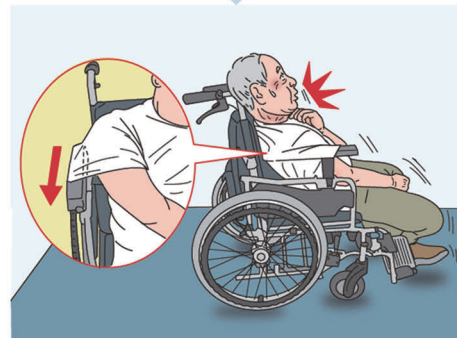
- 人 回収時は点検整備に回すので雑に扱っても良いと思っていた
- モノ 固定をしないことで大きな力が加わり、構造部分の劣化が進行していた
- モノ 製品の取扱説明書に、保管運搬時の注意が記載されていなかった
- 管理 事業者のマニュアルに接続部分の点検や、保管運搬時の固定が記載されていなかった

4

Case 5 車いすのアームサポートに衣服が  
引っ掛り首が締められそうになる

場面の説明

車いす上で身体が前方に滑り姿勢が崩れた際に、衣服の袖口が高さ調整のできるT字形のアームサポート後端に引っ掛って、首が締められそうになる。



介護保険の種目 車いす CCTA95-122100：車いす  
用具の種類・利用シーン 移動／外出

解説

本人の座位姿勢保持の能力や身体に合わない車いすの利用により、臀部が前方に滑り出す「ずっこけ姿勢」になることがあります。このケースは更に半袖シャツの袖口が引っ掛るといって、命に係わる重大な事故につながる危険があります。そもそも不良姿勢な姿勢を放置していること自体に問題があると考えられ、身体に合った車いすを利用することが大切です。

参考要因

- 人 股関節が固く、座位の崩れやすい利用者だった
- 環境 使用者の生活機能に適合しない車いすだった
- モノ 高さ調節式のアームサポートで、引っ掛りやすい形状だった
- 管理 座位の崩れが重大な事故につながる想定をしていなかった

5

※上記の詳細については、別冊として作成した「福祉用具ヒヤリハット事例集 2022」を参照されたい。

## 1.1. 介護現場・開発企業、行政、マスコミ、海外等からの照会受付・情報発信

### (1) 概要

本事業の委託先である公益財団法人テクノエイド協会（以下、テクノエイド協会）内に相談窓口を設置し、介護ロボットに関わる相談対応を行った。

主には、介護ロボットに関する開発や活用方法などについて、開発企業や介護福祉施設等からの疑問や質問を電話や電子メールで回答した。この「介護ロボット実用化に関する相談窓口」は平成25年7月より継続的に実施しているところである。

#### ① 開設日

平成25年7月29日（以降、継続中）

#### ② 開設場所

公益財団法人テクノエイド協会 企画部内

#### ③ 内容

##### 【電話相談窓口】

○専用電話番号：03-3260-5121

（※つながらない場合には、企画部電話番号：03-3266-6883）

コーディネーターが、介護ロボットの実用化に関する相談に応じる。

##### 【ホームページ相談窓口】

○メールアドレス：[robocare@techno-aids.or.jp](mailto:robocare@techno-aids.or.jp)

#### ④ 主な利用内容

（利用者側の方）

- ・安全利用の調査に関して、どのような事例を送付すればよいのか？
- ・介護ロボット開発・実証フィールドの登録メリット等について。
- ・開発企業とのマッチング方法について詳細を知りたい。
- ・介護ロボットの導入検討しているが、まずは試用貸出を利用したい。等

（開発に携わっている方）

- ・介護ロボットを開発しているが、厚生労働省等での認定はあるのか。
- ・テクノエイド協会の事業に参画したいが、具体的な方法を知りたい。
- ・今後、本分野に参画する予定だが、現場のニーズを知りたい。
- ・開発が完了した製品の市場を広げていくためにはどのようなことが必要か。等

#### ⑤ その他

開発中又は開発を計画している介護ロボットについては、相談窓口を通じて「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」、「試作介護機器へのアドバイス支援事業」、「介護ロボット等モニター調査事業」等に繋げることとした。

## (2) 相談内容

テクノエイド協会内で相談を受けた内容については、その場で内容を記録しており、最終的には月報として取りまとめている。主な問合せ内容については、下記の表の通りであった。

相談者種別	主な問合せ内容
メーカー関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護ロボット導入助成制度について</li> <li>・ 導入助成事業の対象となるか否かの相談</li> <li>・ 開発助成制度について</li> <li>・ 開発助成事業の対象機器となるか否かの相談</li> <li>・ 介護保険制度の給付対象について</li> <li>・ 所有する要素技術の活用法</li> <li>・ 開発機器へのアドバイス相談</li> <li>・ モニター調査等実施事業についての相談</li> <li>・ 協会が発行している冊子への掲載方法</li> <li>・ 介護ロボットの展示やイベントの開催情報 など</li> </ul>
介護施設関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試用貸出事業に参加してみたい。</li> <li>・ 福祉用具等の安全利用に関して。</li> <li>・ 介護ロボットの導入助成制度について</li> <li>・ 施設への導入検討のため、機器紹介希望</li> <li>・ モニター調査等実施事業の内容</li> <li>・ 意見交換会やモニター調査等の協力機関としての応募方法</li> <li>・ 介護ロボットの選定アドバイス</li> <li>・ 介護ロボット活用ミーティングへの参加</li> <li>・ 介護ロボットフォーラムの問合せ など</li> </ul>
行政関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉用具の安全利用に関する問い合わせ</li> <li>・ 介護ロボット展示・イベントのための要望（機器紹介）</li> <li>・ 介護ロボットの動向にかかわる講演依頼</li> <li>・ 介護ロボットの助成対象に関わる相談</li> <li>・ 介護ロボット導入施設、実績、事例の紹介依頼</li> <li>・ モニター調査等実施事業の内容 など</li> </ul>
マスコミ関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護ロボット導入実績（導入実態調査）</li> <li>・ 介護ロボット開発動向・普及活用状況</li> <li>・ 介護ロボット全国フォーラム等の取材 など</li> </ul>

今年度は、福祉用具等の安全利用に関して、事例収集を大規模に行ったため、事例の提出方法や範囲等の問い合わせが多かった。また、例年通り、開発企業からは、開発の相談や補助対象に係る内容が多く、介護施設からは、導入にあたっての相談が多数寄せられた。「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」の相談窓口が全国に配置されているが、以前として協会への相談は多い傾向にある。

### (3) 月別相談状況

#### ① 介護ロボットに係る相談業務／受付入力・月報作成システム

月報については、様式を定め記録システムを構築している。これによって月別の相談内容をはじめ、問合せ先の種別や連絡先、問合せ方法等の情報を集約することができることとした。

【介護ロボットに係る相談業務】受付入力・月報作成システム				2021.4.14 Ver.1.21	
① Seq	108	日付	3月1日 (火)	2022年	記入者
② 方法	<input type="checkbox"/> 電話	<input type="checkbox"/> e-mail	<input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> 来所	<input type="checkbox"/> 他 ※その他について
主テーマ ③	<input type="checkbox"/> ロボット導入	<input type="checkbox"/> ロボット活用	<input type="checkbox"/> ロボット補助	<input type="checkbox"/> マッチング	※主テーマの備考
	<input type="checkbox"/> 実用化支援事業	<input type="checkbox"/> 試用貸出	<input type="checkbox"/> イベント	<input type="checkbox"/> ニーズ・苦情等	
④ 団体名	※団体(部署)名		※企業コード	⑤ 氏名連絡先	※氏名
					※TEL・e-mail など
問合せ内容 ⑥				対応・備考 ⑦	
⑧ 団体区分	<input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設	<input type="checkbox"/> 医療施設	<input type="checkbox"/> 障害者施設	<input type="checkbox"/> 居宅介護事業所(貸与除)	<input type="checkbox"/> 福祉用具貸与事業所
	<input type="checkbox"/> メーカー 輸入事業者	<input type="checkbox"/> 介護実習普及センター 社協	<input type="checkbox"/> 自治体(県市町村)	<input type="checkbox"/> 産業振興支援団体	
	<input type="checkbox"/> 大学・研究機関	<input type="checkbox"/> マスコミ	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 不明

#### 本システムの主な入力項目の解説

1. Seq：問合わせの総計の番号。
2. 方法：専用電話の他、メールや来所等でも相談を受付けているため、方法を選択する。
3. 主テーマ：相談内容が多岐に渡る為、テーマを項目分けし、選択する。
4. 団体名：問合せ者の所属、団体名を記載する。
5. 氏名連絡先：氏名及び、電話番号を記載する。
6. 問合せ内容：具体的な問合せ内容を記載する。
7. 対応・備考：問合せ内容に対し、どのように対応したか共有のため、記載する。
8. 団体区分：問合せ者がどのカテゴリに属するか選択する。





